

4 重要視する居住環境と居住地選択要因

(1) 港区に住むきっかけ

■単純集計

- ・ いずれの居住属性でも「あなたの仕事の都合」の割合が最も高く、居住者は3割程度、転入者と転出者は4割前後
- ・ 転入者と居住者は「住居の購入」の割合も高く、1割強
- ・ 転出者は港区に住んだきっかけで、「あなたの仕事の都合」に次いで、「配偶者（パートナー）の仕事の都合」の割合が高い
- ・ 「生まれてからずっと港区に住んでいる（住んでいた）」は、居住者・転出者ともに1割弱

図表2-44は、港区に住むきっかけの単純集計の結果である。

転入者をみると、「あなたの仕事の都合」が37.50%と最大の値を示し、次いで「住居の購入」は11.50%、「あなたの結婚の都合」は8.75%となっている。

居住者をみると、「あなたの仕事の都合」が31.02%と最大の値を示し、次いで「住居の購入」は15.84%、「生まれてからずっと港区に住んでいる」は8.58%となっている。

転出者をみると、「あなたの仕事の都合」が45.32%と最大の値を示し、次いで「配偶者（パートナー）の仕事の都合」は7.55%、「生まれてからずっと港区に住んでいた」と「住居の購入」は7.19%となっている。なお、転出者は、過去に港区に住んだきっかけとして回答してもらっている。

図表2-44 港区に住むきっかけ（SA）

	（単位 %）		
	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
生まれてからずっと港区に住んでいる（住んでいた）	0.00	8.58	7.19
あなたの親（保護者）の都合	2.00	5.61	6.47
あなたの進学 of 都合	1.25	1.32	1.08
あなたの結婚の都合	8.75	7.26	6.12
あなたの離婚の都合	1.25	0.99	1.08
あなたの仕事の都合	37.50	31.02	45.32
配偶者（パートナー）の仕事の都合	7.00	5.94	7.55
あなたの親の介護の都合	0.00	0.33	0.00
配偶者（パートナー）の親の介護の都合	0.00	0.33	0.72
子どもの出産（出産前に転入）	0.75	1.32	0.36
子どもの出産（出産後に転入）	1.00	0.33	0.00
就学前児童の保育園・幼稚園等への入園	1.25	1.98	1.44
子どもの小学校への入学（小学生に当たる年齢を対象としたインターナショナルスクールを含む）	3.50	1.98	0.72
子どもの中学校への入学（中学生に当たる年齢を対象としたインターナショナルスクールを含む）	0.75	0.33	0.36
子どもの高等学校への入学（高校生に当たる年齢を対象とした専門学校等を含む）	0.25	0.00	0.00
子どもの大学等への入学（大学生に当たる年齢を対象とした専門学校、短期大学、大学院等を含む）	0.00	0.00	0.00
賃貸契約の更新	8.25	4.29	5.76
住居の購入	11.50	15.84	7.19
親族の港区への転入	1.25	0.99	0.36
その他	5.00	2.97	3.24
特に理由はない	3.50	2.97	2.52
住んでみたかった	0.75	0.66	0.72
都営住宅への入居当選	1.00	0.33	0.00
無回答	3.50	4.62	1.80

■クロス集計

ア 年齢

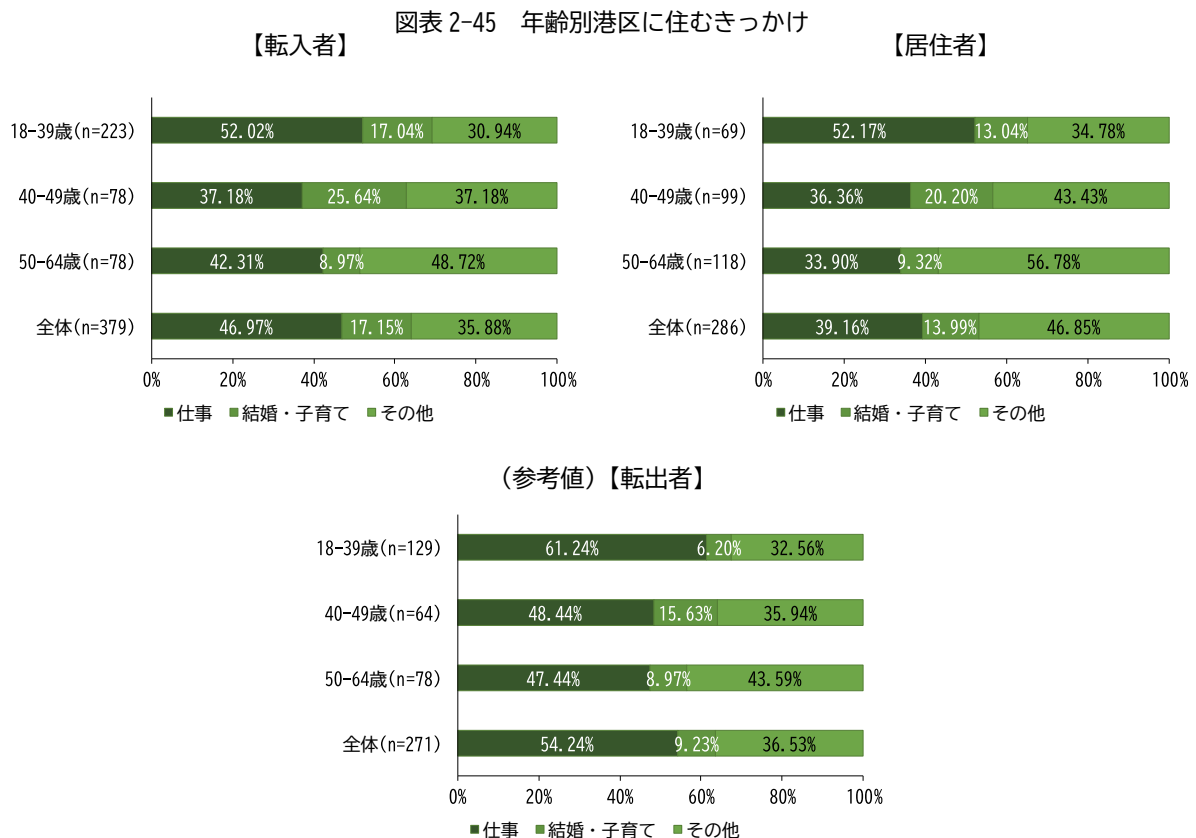
- ・転入者と居住者のいずれも、「40～49歳」で「結婚・子育て」の割合が高い
- ・「18～39歳」の転出者は、港区に住んだきっかけで、「結婚・子育て」の割合が他の居住属性の同世代と比較して低い

図表2-45は、年齢と港区に住むきっかけのクロス集計結果である。転入者と居住者で有意な差がみられた。

転入者について、「結婚・子育て」をみると、「40～49歳」が25.64%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は17.04%、「50～64歳」は8.97%となっている。

居住者について、「結婚・子育て」をみると、「40～49歳」が20.20%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は13.04%、「50～64歳」は9.32%となっている。

参考値であるが、「18～39歳」の転出者をみると、「結婚・子育て」の割合が6.20%と、他の居住属性の「18～39歳」と比較して低い割合となっている。



注：「仕事」には「あなたの仕事の都合」と「配偶者（パートナー）の仕事の都合」を含み、「結婚・子育て」には「あなたの結婚の都合」「子どもの出産（出産前に転入）」「子どもの出産（出産後に転入）」「就学前児童の保育園・幼稚園等への入園」「子どもの小学校への入学（小学生に当たる年齢を対象としたインターナショナルスクールを含む）」「子どもの中学校への入学（中学生に当たる年齢を対象としたインターナショナルスクールを含む）」「子どもの高等学校への入学（高校生に当たる年齢を対象とした専門学校等を含む）」「子どもの大学等への入学（大学生に当たる年齢を対象とした専門学校、短期大学、大学院等を含む）」を含む。以下、同様。

イ 居住地区

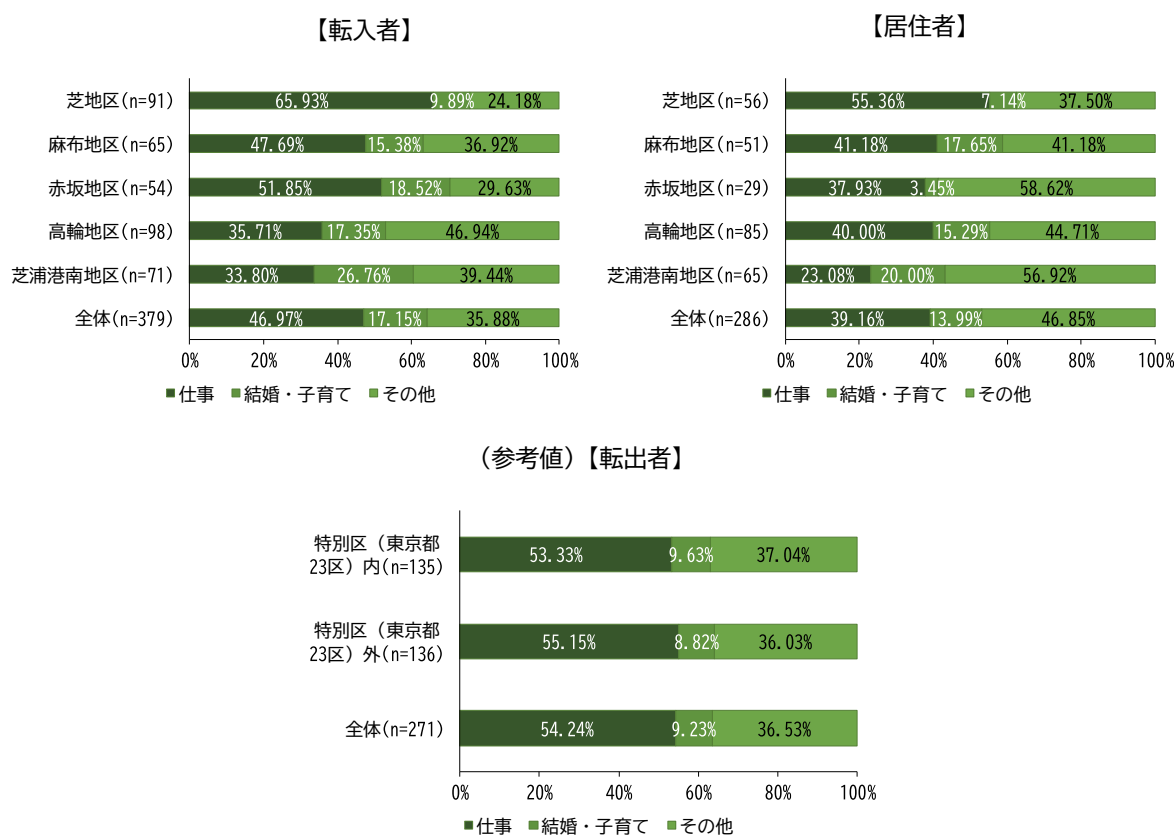
転入者と居住者のいずれも、「芝浦港南地区」で「結婚・子育て」の割合が高い

図表2-46は、居住地区と港区に住むきかけのクロス集計結果である。転入者と居住者で有意な差がみられた。

転入者について、「結婚・子育て」をみると、「芝浦港南地区」が26.76%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は18.52%、「高輪地区」は17.35%となっている。

居住者について、「結婚・子育て」をみると、「芝浦港南地区」が20.00%と最大の値を示し、次いで「麻布地区」は17.65%、「高輪地区」は15.29%となっている。

図表2-46 居住地区別港区に住むきかけ



ウ 居住年数

- ・居住者と転出者のいずれも、居住年数が短い人の「結婚・子育て」の割合が高い
- ・転出者の港区に住んだきかけは、居住者と比較していずれの世代でも「結婚・子育て」の割合が低い

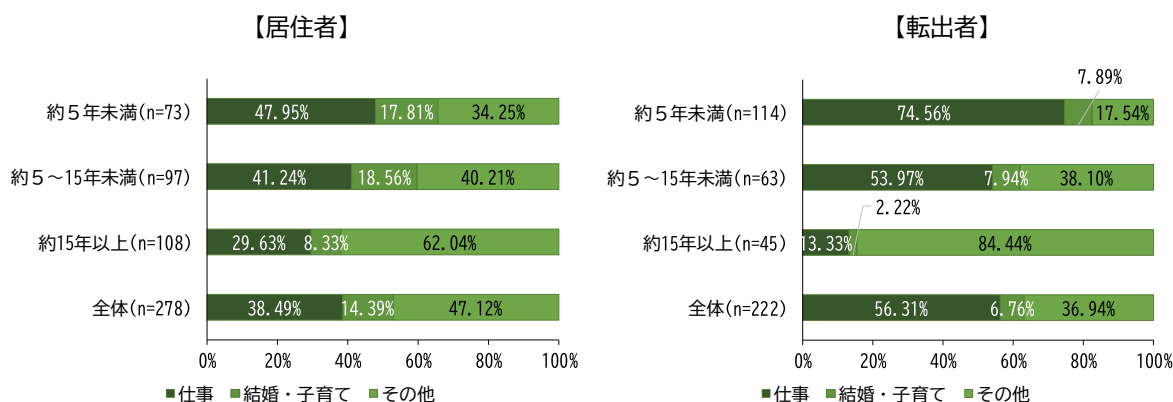
図表2-47は、居住年数と港区に住むきかけのクロス集計結果である。いずれの居住属性でも有意な差がみられた。

居住者について、「結婚・子育て」をみると、「約5～15年未満」が18.56%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は17.81%、「約15年以上」は8.33%となっている。

転出者について、「結婚・子育て」をみると、「約5～15年未満」が7.94%と最大の値を示し、

次いで「約5年未満」は7.89%、「約15年以上」は2.22%となっている。

図表 2-47 居住年数別港区に住むきっかけ



エ 世帯類型

- ・ いずれの居住属性でも、「既婚・18歳未満の子と同居」の「結婚・子育て」の割合が高い
- ・ 「既婚・18歳未満の子と同居」の転入者の「結婚・子育て」をみると、他の居住属性と比較して2割程度高い

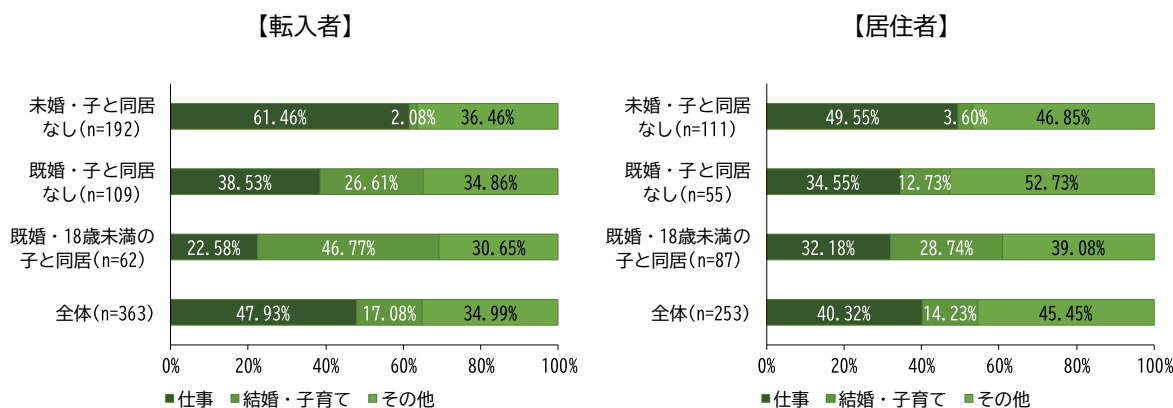
図表 2-48 は、世帯類型と港区に住むきっかけのクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「結婚・子育て」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が46.77%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は26.61%、「未婚・子と同居なし」は2.08%となっている。

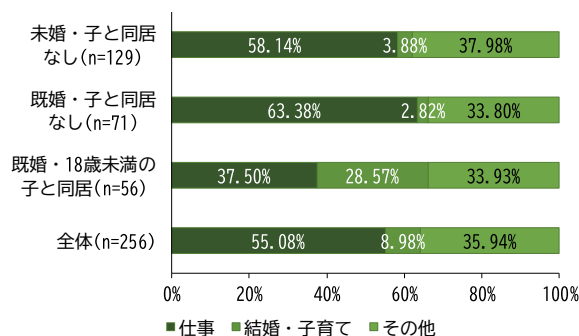
居住者について、「結婚・子育て」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が28.74%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は12.73%、「未婚・子と同居なし」は3.60%となっている。

転出者について、「結婚・子育て」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が28.57%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は3.88%、「既婚・子と同居なし」は2.82%となっている。

図表 2-48 世帯類型別港区に住むきっかけ



【転出者】



(2) 居住環境で重要視している点

■単純集計

- ・居住環境で重要視している点は、いずれの居住属性でも「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「治安」「勤務先との近さ」の割合が高い
- ・転出者は「住宅価格・家賃の水準」の割合が約半数と、他の居住属性と比較して高い
- ・令和元年度の調査における転入者・転出者についても、「公共交通機関の利便性」「治安」「勤務先との近さ」を重要視する割合が高い

図表2-49-1は、居住環境で重要視している点の単純集計の結果である。

転入者をみると、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」が70.75%と最大の値を示し、次いで「治安」は60.25%、「勤務先との近さ」は53.50%となっている。

居住者をみると、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」が67.33%と最大の値を示し、次いで「治安」は62.71%、「勤務先との近さ」は48.51%となっている。

転出者をみると、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」が67.27%と最大の値を示し、次いで「治安」は61.51%、「住宅価格・家賃の水準」は53.96%となっている。

図表 2-49-1 居住環境で重要視している点（MA・最大5つを選択）

（単位：%）

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
住宅価格・家賃の水準	42.00	28.38	53.96
公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	70.75	67.33	67.27
防災	12.25	21.78	16.19
治安	60.25	62.71	61.51
まちのイメージ・ブランド力	24.25	19.47	15.47
景観・街並み	34.75	29.70	26.62
飲食店の充実	20.00	14.19	18.71
食料品・日用品・消耗品の買い物環境	45.00	44.55	48.56
食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境	2.50	3.63	2.88
自然環境への配慮	6.25	5.61	8.63
地域コミュニティとの交流・活動	1.75	2.64	4.68
親族・友人・知人が近くにいる	7.75	10.23	10.79
勤務先との近さ	53.50	48.51	43.17
子育て環境の充実	16.50	18.81	18.71
教育環境の充実（就学前）	4.75	4.95	2.88
教育環境の充実（小学生世代）	6.25	10.23	5.04
教育環境の充実（中学生世代）	1.50	2.31	1.44
教育環境の充実（高校生世代）	1.00	0.99	1.08
豊かな国際性	7.25	3.30	1.80
性的少数者への支援の充実	0.50	0.66	0.72
医療機関の充実	12.25	18.81	16.19
博物館、美術館など文化施設の充実	4.50	4.62	4.32
公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	8.50	9.57	5.40
障害者向けの福祉環境の充実	0.25	1.32	1.80
高齢者向けの福祉環境の充実	2.25	3.63	1.80
行政サービスのオンライン化の進展度	2.50	1.65	1.80
その他	1.25	1.32	1.44
無回答	1.00	1.98	3.24

また、令和元年度の居住環境で重要視している点の調査結果は図表 2-49-2 のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、転入者をみると、「公共交通機関の利便性」が 45.12% と最大の値を示し、次いで「勤務先との近さ」は 37.80%、「買い物のしやすさ」は 35.98% となっている。また、転出者をみると、「公共交通機関の利便性」が 45.21% と最大の値を示し、次いで「買い物のしやすさ」は 39.36%、「治安」と「勤務先との近さ」は 38.30% となっており、「公共交通機関の利便性」「勤務先との近さ」「治安」が上位であることは、令和 5 年度の転入者・転出者と同傾向である。

図表 2-49-2 令和元年度の調査結果（居住環境で重要視している点）
（MA・最大5つを選択）（単位：%）

	令和元年度	
	転入者 (n=164)	転出者 (n=188)
住宅価格・家賃	28.66	37.23
公共交通機関の利便性	45.12	45.21
道路交通の利便性	7.93	11.70
防災面における安全性	12.20	9.57
治安	33.54	38.30
まちのイメージ	15.85	17.02
景観・街並み	20.12	16.49
自然の豊かさ	13.41	12.77
飲食店の充実度	13.41	12.77
買い物のしやすさ	35.98	39.36
環境に配慮したまちづくり	3.66	1.06
地域コミュニティの活動	1.22	4.79
友人・知人・親族が近くにいる	7.32	5.32
勤務先との近さ	37.80	38.30
子育て支援の充実	7.32	9.57
教育環境の充実（幼稚園・小学校）	3.66	4.79
教育環境の充実（中学校）	0.00	0.53
教育環境の充実（高等学校）	0.00	0.00
生涯学習の機会の充実	0.00	0.53
公園の充実	4.88	5.32
スポーツ施設の充実	3.66	3.19
博物館・美術館など文化施設の充実	0.61	2.66
医療機関の充実	6.71	7.98
高齢者・障害者向けの福祉環境の充実	1.22	1.60
国際性の豊かさ	1.83	3.19
その他	0.61	2.66
無回答	15.85	8.51

■クロス集計

ア 性別

- ・転入者は、「住宅価格・家賃の水準」「まちのイメージ・ブランド力」「飲食店の充実」は「男性」の方が割合が高く、「治安」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」「親族・友人・知人が近くにいる」は「女性」の方が割合が高い
- ・居住者は、「治安」は「女性」の方が割合が高く、「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」「行政サービスのオンライン化の進展度」は「男性」の方が割合が高い
- ・転出者は、「防災」「まちのイメージ・ブランド力」「飲食店の充実」は「男性」の方が割合が高く、「治安」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「親族・友人・知人が近くにいる」は「女性」の方が割合が高い

図表 2-50 は、性別と居住環境で重要視している点のクロス集計結果である。転入者は「住宅価格・家賃の水準」「まちのイメージ・ブランド力」「飲食店の充実」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」「親族・友人・知人が近くにいる」で、居住者は「治安」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」「行政サービスのオンライン化の進展度」で、転出者は「まちのイメージ・ブランド力」「飲食店の充実」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「親族・友人・知人が近くにいる」で有意な差がみられた。

転入者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると「男性」が50.00%、「女性」は34.63%となっている。「治安」を見ると「男性」が50.00%、「女性」は70.24%となっている。「まちのイメージ・ブランド力」をみると「男性」が29.79%、「女性」は19.51%となっている。「飲食店の充実」をみると「男性」が25.00%、「女性」は15.61%となっている。「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」は「男性」が38.30%、「女性」は52.20%となっている。「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」は「男性」が0.53%、「女性」は4.39%となっている。「親族・友人・知人が近くにいる」は「男性」が2.66%、「女性」は12.68%となっている。

居住者について、「治安」は「男性」が58.33%、「女性」は70.37%となっている。「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」は「男性」が14.10%、「女性」は5.19%となっている。「行政サービスのオンライン化の進展度」は「男性」が3.21%、「女性」は0%となっている。

転出者について、「まちのイメージ・ブランド力」をみると「男性」が20.63%、「女性」は10.87%となっている。「飲食店の充実」をみると「男性」が26.19%、「女性」は13.77%となっている。「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると「男性」が41.27%、「女性」は58.70%となっている。「親族・友人・知人が近くにいる」をみると「男性」が7.14%、「女性」は15.22%となっている。

図表 2-50 性別・居住環境で重要視している点
【転入者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
男性(n=188)	50.00%	71.81%	11.17%	50.00%	29.79%	35.64%	25.00%	38.30%	0.53%
女性(n=205)	34.63%	71.22%	13.66%	70.24%	19.51%	35.12%	15.61%	52.20%	4.39%
全体(n=393)	41.98%	71.50%	12.47%	60.56%	24.43%	35.37%	20.10%	45.55%	2.54%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
男性(n=188)	5.85%	2.13%	2.66%	54.26%	18.09%	4.26%	6.38%	2.13%	1.60%
女性(n=205)	6.34%	1.46%	12.68%	54.15%	15.12%	5.37%	6.34%	0.98%	0.49%
全体(n=393)	6.11%	1.78%	7.89%	54.20%	16.54%	4.83%	6.36%	1.53%	1.02%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
男性(n=188)	6.38%	0.53%	10.11%	5.32%	8.51%	0.53%	2.13%	2.66%	1.06%
女性(n=205)	7.80%	0.49%	14.63%	3.90%	8.78%	0.00%	2.44%	2.44%	1.46%
全体(n=393)	7.12%	0.51%	12.47%	4.58%	8.65%	0.25%	2.29%	2.54%	1.27%

【居住者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
男性(n=156)	29.49%	67.31%	19.87%	58.33%	22.44%	26.28%	15.38%	43.59%	2.56%
女性(n=135)	28.15%	69.63%	25.19%	70.37%	17.78%	34.81%	13.33%	49.63%	5.19%
全体(n=291)	28.87%	68.38%	22.34%	63.92%	20.27%	30.24%	14.43%	46.39%	3.78%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
男性(n=156)	5.13%	1.92%	8.97%	53.21%	20.51%	5.13%	13.46%	2.56%	1.28%
女性(n=135)	6.67%	3.70%	12.59%	45.93%	17.78%	5.19%	6.67%	2.22%	0.74%
全体(n=291)	5.84%	2.75%	10.65%	49.83%	19.24%	5.15%	10.31%	2.41%	1.03%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
男性(n=156)	1.92%	0.00%	17.95%	2.56%	14.10%	0.64%	2.56%	3.21%	1.92%
女性(n=135)	5.19%	0.74%	19.26%	7.41%	5.19%	2.22%	4.44%	0.00%	0.74%
全体(n=291)	3.44%	0.34%	18.56%	4.81%	9.97%	1.37%	3.44%	1.72%	1.37%

【転出者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
男性(n=126)	56.35%	69.84%	22.22%	51.59%	20.63%	23.81%	26.19%	41.27%	2.38%
女性(n=138)	55.80%	70.29%	12.32%	74.64%	10.87%	31.16%	13.77%	58.70%	3.62%
全体(n=264)	56.06%	70.08%	17.05%	63.64%	15.53%	27.65%	19.70%	50.38%	3.03%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
男性(n=126)	7.94%	3.97%	7.14%	40.48%	20.63%	3.17%	4.76%	3.17%	1.59%
女性(n=138)	9.42%	5.80%	15.22%	47.10%	18.12%	2.90%	5.80%	0.00%	0.72%
全体(n=264)	8.71%	4.92%	11.36%	43.94%	19.32%	3.03%	5.30%	1.52%	1.14%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
男性(n=126)	3.17%	0.00%	15.87%	5.56%	6.35%	1.59%	1.59%	1.59%	1.59%
女性(n=138)	0.72%	0.00%	18.12%	2.90%	3.62%	2.17%	2.17%	2.17%	1.45%
全体(n=264)	1.89%	0.00%	17.05%	4.17%	4.92%	1.89%	1.89%	1.89%	1.52%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 年齢

- ・ いずれの居住属性でも、「住宅価格・家賃の水準」は「18～39歳」で割合が高い
- ・ いずれの居住属性でも、「子育て環境の充実」「教育環境の充実（小学生世代）」は「18～39歳」と「40～49歳」で割合が高い
- ・ 「医療機関の充実」は、転入者と居住者で有意な差がみられ、年齢が高いほど割合が高い
- ・ 「高齢者向けの福祉環境の充実」は、転入者と転出者で有意な差がみられ、「50～64歳」のみ回答者がいる

図表2-51は、年齢と居住環境で重要視している点のクロス集計結果である。転入者は「住宅価格・家賃の水準」「防災」「飲食店の充実」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「自然環境への配慮」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（小学生世代）」「医療機関の充実」「高齢者向けの福祉環境の充実」で、居住者は「住宅価格・家賃の水準」「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（就学前）」「教育環境の充実（小学生世代）」「豊かな国際性」「医療機関の充実」で、転出者は「住宅価格・家賃の水準」「景観・街並み」「自然環境への配慮」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（小学生世代）」「高齢者向けの福祉環境の充実」で有意な差がみられた。

転入者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると「18～39歳」が49.78%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は34.12%、「40～49歳」は30.95%となっている。「防災」をみると「50～64歳」が22.35%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は10.57%、「40～49歳」は7.14%となっている。「飲食店の充実」をみると「40～49歳」が23.81%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は22.47%、「50～64歳」は10.59%となっている。「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると「18～39歳」が49.78%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は45.24%、「50～64歳」は34.12%となっている。「自然環境への配慮」をみると「50～64歳」は14.12%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は4.41%、「40～49歳」は3.57%となっている。「子育て環境の充実」をみると「18～39歳」が20.26%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は20.24%、「50～64歳」は3.53%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると「40

～49歳」が10.71%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は6.61%、「50～64歳」は1.18%となっている。「医療機関の充実」をみると「50～64歳」が20.00%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は17.86%、「18～39歳」は7.49%となっている。「高齢者向けの福祉環境の充実」をみると「50～64歳」が10.59%と最大の値を示し、「18～39歳」と「40～49歳」は0%となっている。

居住者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると「18～39歳」が48.57%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は25.60%、「40～49歳」は19.61%となっている。「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」をみると「50～64歳」が77.60%、「18～39歳」は64.29%、「40～49歳」は60.78%となっている。「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると「50～64歳」が56.00%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は41.43%、「40～49歳」は35.29%となっている。「子育て環境の充実」をみると「18～39歳」が31.43%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は30.39%、「50～64歳」は3.20%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると「18～39歳」が8.57%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は7.84%、「50～64歳」は0.80%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「40～49歳」が18.63%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は11.43%、「50～64歳」は3.20%となっている。「豊かな国際性」をみると「40～49歳」が7.84%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は1.43%、「50～64歳」は0.80%となっている。「医療機関の充実」をみると「50～64歳」が25.60%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は18.63%、「18～39歳」は8.57%となっている。

転出者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると、「18～39歳」が65.35%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は52.38%、「50～64歳」は43.04%となっている。「景観・街並み」をみると、「50～64歳」が44.30%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は28.57%、「18～39歳」は16.54%となっている。「自然環境への配慮」をみると、「50～64歳」が18.99%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は7.94%、「18～39歳」は3.15%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「40～49歳」が25.40%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は23.62%、「50～64歳」は7.59%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「40～49歳」が11.11%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は4.72%、「50～64歳」は1.27%となっている。「高齢者向けの福祉環境の充実」をみると、「50～64歳」が6.33%と最大の値を示し、「18～39歳」と「40～49歳」は0%となっている。

図表 2-51 年齢別居住環境で重要視している点
【転入者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18～39歳(n=227)	49.78%	68.28%	10.57%	57.27%	25.11%	34.80%	22.47%	49.78%	3.52%
40～49歳(n=84)	30.95%	70.24%	7.14%	65.48%	19.05%	32.14%	23.81%	45.24%	2.38%
50～64歳(n=85)	34.12%	81.18%	22.35%	65.88%	28.24%	38.82%	10.59%	34.12%	0.00%
全体(n=396)	42.42%	71.46%	12.37%	60.86%	24.49%	35.10%	20.20%	45.45%	2.53%
	自然環境への配慮	地域コミュニティの交流・活動	親族・友人・知人との交流・活動	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18～39歳(n=227)	4.41%	1.32%	7.93%	57.27%	20.26%	5.29%	6.61%	0.88%	0.44%
40～49歳(n=84)	3.57%	2.38%	10.71%	55.95%	20.24%	7.14%	10.71%	3.57%	2.38%
50～64歳(n=85)	14.12%	2.35%	4.71%	43.53%	3.53%	1.18%	1.18%	1.18%	1.18%
全体(n=396)	6.31%	1.77%	7.83%	54.04%	16.67%	4.80%	6.31%	1.52%	1.01%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18～39歳(n=227)	7.05%	0.88%	7.49%	3.96%	6.17%	0.00%	0.00%	3.08%	0.88%
40～49歳(n=84)	9.52%	0.00%	17.86%	3.57%	10.71%	0.00%	0.00%	2.38%	3.57%
50～64歳(n=85)	5.88%	0.00%	20.00%	7.06%	12.94%	1.18%	10.59%	1.18%	0.00%
全体(n=396)	7.32%	0.51%	12.37%	4.55%	8.59%	0.25%	2.27%	2.53%	1.26%

【居住者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18-39歳(n=70)	48.57%	64.29%	14.29%	55.71%	15.71%	20.00%	15.71%	41.43%	2.86%
40-49歳(n=102)	19.61%	60.78%	21.57%	71.57%	19.61%	31.37%	10.78%	35.29%	0.98%
50-64歳(n=125)	25.60%	77.60%	27.20%	62.40%	22.40%	35.20%	16.80%	56.00%	6.40%
全体(n=297)	28.96%	68.69%	22.22%	63.97%	19.87%	30.30%	14.48%	45.45%	3.70%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18-39歳(n=70)	5.71%	0.00%	8.57%	52.86%	31.43%	8.57%	11.43%	2.86%	1.43%
40-49歳(n=102)	4.90%	2.94%	12.75%	50.98%	30.39%	7.84%	18.63%	3.92%	0.98%
50-64歳(n=125)	6.40%	4.00%	9.60%	46.40%	3.20%	0.80%	3.20%	0.80%	0.80%
全体(n=297)	5.72%	2.69%	10.44%	49.49%	19.19%	5.05%	10.44%	2.36%	1.01%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18-39歳(n=70)	1.43%	0.00%	8.57%	5.71%	11.43%	1.43%	0.00%	2.86%	2.86%
40-49歳(n=102)	7.84%	0.98%	18.63%	2.94%	12.75%	0.00%	2.94%	1.96%	0.98%
50-64歳(n=125)	0.80%	0.80%	25.60%	5.60%	6.40%	2.40%	6.40%	0.80%	0.80%
全体(n=297)	3.37%	0.67%	19.19%	4.71%	9.76%	1.35%	3.70%	1.68%	1.35%

【転出者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18-39歳(n=127)	65.35%	67.72%	14.96%	68.50%	17.32%	16.54%	18.11%	54.33%	3.15%
40-49歳(n=63)	52.38%	69.84%	17.46%	57.14%	14.29%	28.57%	20.63%	42.86%	3.17%
50-64歳(n=79)	43.04%	72.15%	18.99%	60.76%	15.19%	44.30%	20.25%	49.37%	2.53%
全体(n=269)	55.76%	69.52%	16.73%	63.57%	15.99%	27.51%	19.33%	50.19%	2.97%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18-39歳(n=127)	3.15%	2.36%	13.39%	50.39%	23.62%	3.94%	4.72%	1.57%	0.79%
40-49歳(n=63)	7.94%	7.94%	12.70%	42.86%	25.40%	1.59%	11.11%	0.00%	1.59%
50-64歳(n=79)	18.99%	6.33%	6.33%	36.71%	7.59%	2.53%	1.27%	2.53%	1.27%
全体(n=269)	8.92%	4.83%	11.15%	44.61%	19.33%	2.97%	5.20%	1.49%	1.12%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18-39歳(n=127)	2.36%	0.79%	11.02%	3.15%	3.94%	2.36%	0.00%	1.57%	1.57%
40-49歳(n=63)	3.17%	1.59%	22.22%	1.59%	6.35%	0.00%	0.00%	0.00%	3.17%
50-64歳(n=79)	0.00%	0.00%	21.52%	8.86%	7.59%	2.53%	6.33%	3.80%	0.00%
全体(n=269)	1.86%	0.74%	16.73%	4.46%	5.58%	1.86%	1.86%	1.86%	1.49%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 居住地区

- ・居住者では、有意な差がみられた項目はなかった
- ・転入者は、「子育て環境の充実」において「芝浦港南地区」「高輪地区」「赤坂地区」の順で割合が高い
- ・転出者は、有意な差がみられた「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「飲食店の充実」のいずれも、「特別区（東京都23区）内」の割合が高い

図表2-52は、居住地区と居住環境で重要視している点のクロス集計結果である。転入者は「子育て環境の充実」で、転出者は「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「飲食店の充実」で有意な差がみられ、居住者では有意な差がみられた項目はなかった。

転入者について、「子育て環境の充実」をみると、「芝浦港南地区」が28.38%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は18.45%、「赤坂地区」は13.33%となっている。

転出者について、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」をみると、「特別区（東京都23区）内」が76.69%、「特別区（東京都23区）外」は62.50%となっている。「飲食店の充実」

をみると、「特別区（東京都23区）内」が25.56%、「特別区（東京都23区）外」は13.24%となっている。

図表 2-52 居住地区別居住環境で重要視している点
【転入者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 （道路交通を含む）・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
芝地区(n=94)	44.68%	71.28%	5.32%	59.57%	24.47%	31.91%	25.53%	52.13%	3.19%
麻布地区(n=65)	46.15%	66.15%	12.31%	52.31%	30.77%	44.62%	27.69%	49.23%	4.62%
赤坂地区(n=60)	40.00%	73.33%	16.67%	58.33%	30.00%	36.67%	20.00%	33.33%	0.00%
高輪地区(n=103)	41.75%	69.90%	17.48%	63.11%	22.33%	33.01%	11.65%	42.72%	0.97%
芝浦港南地区(n=74)	39.19%	77.03%	10.81%	68.92%	17.57%	32.43%	18.92%	47.30%	4.05%
全体(n=396)	42.42%	71.46%	12.37%	60.86%	24.49%	35.10%	20.20%	45.45%	2.53%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
芝地区(n=94)	6.38%	3.19%	6.38%	53.19%	11.70%	6.38%	5.32%	1.06%	1.06%
麻布地区(n=65)	3.08%	1.54%	9.23%	55.38%	10.77%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
赤坂地区(n=60)	6.67%	3.33%	8.33%	48.33%	13.33%	5.00%	8.33%	1.67%	0.00%
高輪地区(n=103)	10.68%	0.97%	7.77%	57.28%	18.45%	4.85%	7.77%	1.94%	0.97%
芝浦港南地区(n=74)	2.70%	0.00%	8.11%	54.05%	28.38%	6.76%	9.46%	2.70%	2.70%
全体(n=396)	6.31%	1.77%	7.83%	54.04%	16.67%	4.80%	6.31%	1.52%	1.01%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
芝地区(n=94)	4.26%	0.00%	13.83%	4.26%	11.70%	0.00%	0.00%	3.19%	0.00%
麻布地区(n=65)	12.31%	0.00%	7.69%	6.15%	10.77%	0.00%	1.54%	4.62%	1.54%
赤坂地区(n=60)	5.00%	0.00%	13.33%	5.00%	8.33%	0.00%	3.33%	0.00%	1.67%
高輪地区(n=103)	8.74%	0.97%	7.77%	5.83%	3.88%	0.97%	4.85%	2.91%	2.91%
芝浦港南地区(n=74)	6.76%	1.35%	20.27%	1.35%	9.46%	0.00%	1.35%	1.35%	0.00%
全体(n=396)	7.32%	0.51%	12.37%	4.55%	8.59%	0.25%	2.27%	2.53%	1.26%

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 （道路交通を含む）・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
特別区（東京都23区）内 (n=133)	59.40%	76.69%	13.53%	63.16%	19.55%	30.08%	25.56%	48.87%	3.01%
特別区（東京都23区）外 (n=136)	52.21%	62.50%	19.85%	63.97%	12.50%	25.00%	13.24%	51.47%	2.94%
全体(n=269)	55.76%	69.52%	16.73%	63.57%	15.99%	27.51%	19.33%	50.19%	2.97%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
特別区（東京都23区）内 (n=133)	6.02%	2.26%	10.53%	50.38%	19.55%	2.26%	3.76%	0.00%	0.75%
特別区（東京都23区）外 (n=136)	11.76%	7.35%	11.76%	38.97%	19.12%	3.68%	6.62%	2.94%	1.47%
全体(n=269)	8.92%	4.83%	11.15%	44.61%	19.33%	2.97%	5.20%	1.49%	1.12%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
特別区（東京都23区）内 (n=133)	2.26%	0.75%	12.78%	3.01%	3.76%	2.26%	2.26%	1.50%	1.50%
特別区（東京都23区）外 (n=136)	1.47%	0.74%	20.59%	5.88%	7.35%	1.47%	1.47%	2.21%	1.47%
全体(n=269)	1.86%	0.74%	16.73%	4.46%	5.58%	1.86%	1.86%	1.86%	1.49%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

工 居住年数

- ・居住者は、居住年数が短いほど「住宅価格・家賃の水準」と「子育て環境の充実」の割合が高く、居住年数が長いほど「地域コミュニティとの交流・活動」と「医療機関の充実」の割合が高い
- ・転出者は、居住年数が長い人で「防災」と「医療機関の充実」の割合が高い

図表 2-53 は、居住年数と居住環境で重要視している点のクロス集計結果である。居住者は「住宅価格・家賃の水準」「地域コミュニティとの交流・活動」「子育て環境の充実」「医療機関の充実」「高齢者向けの福祉環境の充実」で、転出者は「防災」「教育環境の充実（就学前）」「医療機関の充実」で有意な差がみられた。

居住者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると、「約5年未満」が41.33%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は27.88%、「約15年以上」は21.82%となっている。「地域コミュニティとの交流・活動」をみると、「約15年以上」が6.36%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は0.96%、「約5年未満」は0%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「約5年未満」が28.00%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は23.08%、「約15年以上」は9.09%となっている。「医療機関の充実」をみると、「約15年以上」が27.27%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は17.31%、「約5年未満」は12.00%となっている。「高齢者向けの福祉環境の充実」をみると、「約15年以上」が9.09%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は1.33%、「約5～15年未満」は0%となっている。

転出者について、「防災」をみると、「約15年以上」が30.23%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は13.04%、「約5～15年未満」は11.29%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「約5～15年未満」が8.06%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は1.74%、「約15年以上」は0%となっている。「医療機関の充実」をみると、「約15年以上」が27.91%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は11.30%、「約5～15年未満」は11.29%となっている。

図表 2-53 居住年数別居住環境で重要視している点
【居住者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
約5年未満(n=75)	41.33%	66.67%	17.33%	54.67%	21.33%	25.33%	16.00%	50.67%	1.33%
約5～15年未満(n=104)	27.88%	70.19%	20.19%	66.35%	18.27%	37.50%	15.38%	42.31%	1.92%
約15年以上(n=110)	21.82%	69.09%	28.18%	68.18%	21.82%	28.18%	13.64%	47.27%	6.36%
全体(n=289)	29.07%	68.86%	22.49%	64.01%	20.42%	30.80%	14.88%	46.37%	3.46%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
約5年未満(n=75)	4.00%	0.00%	5.33%	56.00%	28.00%	8.00%	10.67%	0.00%	0.00%
約5～15年未満(n=104)	2.88%	0.96%	10.58%	50.00%	23.08%	4.81%	14.42%	3.85%	1.92%
約15年以上(n=110)	9.09%	6.36%	13.64%	43.64%	9.09%	3.64%	6.36%	2.73%	0.91%
全体(n=289)	5.54%	2.77%	10.38%	49.13%	19.03%	5.19%	10.38%	2.42%	1.04%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
約5年未満(n=75)	4.00%	0.00%	12.00%	4.00%	6.67%	1.33%	1.33%	2.67%	1.33%
約5～15年未満(n=104)	2.88%	1.92%	17.31%	2.88%	11.54%	0.96%	0.00%	2.88%	0.96%
約15年以上(n=110)	3.64%	0.00%	27.27%	6.36%	9.09%	1.82%	9.09%	0.00%	0.91%
全体(n=289)	3.46%	0.69%	19.72%	4.50%	9.34%	1.38%	3.81%	1.73%	1.04%

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物(家電や家具等)の買い物環境
約5年未満 (n=115)	62.61%	70.43%	13.04%	60.00%	20.00%	24.35%	20.87%	53.04%	1.74%
約5～15年未満 (n=62)	53.23%	66.13%	11.29%	66.13%	14.52%	32.26%	16.13%	37.10%	4.84%
約15年以上 (n=43)	48.84%	79.07%	30.23%	69.77%	13.95%	23.26%	18.60%	55.81%	6.98%
全体(n=220)	57.27%	70.91%	15.91%	63.64%	17.27%	26.36%	19.09%	49.09%	3.64%
	自然環境への 配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実(就学前)	教育環境の充実(小学生世代)	教育環境の充実(中学生世代)	教育環境の充実(高校生世代)
約5年未満 (n=115)	6.09%	2.61%	9.57%	51.30%	17.39%	1.74%	3.48%	1.74%	1.74%
約5～15年未満 (n=62)	14.52%	8.06%	12.90%	41.94%	20.97%	8.06%	6.45%	1.61%	0.00%
約15年以上 (n=43)	11.63%	6.98%	11.63%	37.21%	16.28%	0.00%	6.98%	0.00%	0.00%
全体(n=220)	9.55%	5.00%	10.91%	45.91%	18.18%	3.18%	5.00%	1.36%	0.91%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
約5年未満 (n=115)	1.74%	0.87%	11.30%	3.48%	4.35%	0.87%	0.00%	0.87%	1.74%
約5～15年未満 (n=62)	3.23%	1.61%	11.29%	4.84%	8.06%	0.00%	3.23%	3.23%	1.61%
約15年以上 (n=43)	2.33%	0.00%	27.91%	6.98%	4.65%	2.33%	4.65%	2.33%	0.00%
全体(n=220)	2.27%	0.91%	14.55%	4.55%	5.45%	0.91%	1.82%	1.82%	1.36%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

オ 世帯類型

- ・ いずれの居住属性でも、「既婚・18歳未満の子と同居」の人は、「子育て環境」「教育環境」を重要視する割合が高い
- ・ いずれの居住属性でも、「未婚・子と同居なし」の人は、「勤務先との近さ」を重要視する割合が高い
- ・ 「未婚・子と同居なし」の転入者は「飲食店の充実」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」などの生活利便性を重要視する割合が高い

図表2-54は、世帯類型と居住環境で重要視している点のクロス集計結果である。転入者では「飲食店の充実」「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「勤務先との近さ」「子育て環境の充実」「教育環境の充実(就学前)」「教育環境の充実(小学生世代)」「教育環境の充実(中学生世代)」「教育環境の充実(高校生世代)」「豊かな国際性」で、居住者では「景観・街並み」「食料品・日用品・消耗品以外の品物(家電や家具等)の買い物環境」「勤務先との近さ」「子育て環境の充実」「教育環境の充実(就学前)」「教育環境の充実(小学生世代)」「教育環境の充実(中学生世代)」「博物館、美術館など文化施設の充実」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」で、転出者では「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」「自然環境への配慮」「勤務先との近さ」「子育て環境の充実」「教育環境の充実(就学前)」「教育環境の充実(小学生世代)」で有意な差がみられた。

転入者について、「飲食店の充実」をみると、「未婚・子と同居なし」が25.51%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は19.30%、「既婚・18歳未満の子と同居」は4.55%となっている。「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると、「未婚・子と同居なし」が50.51%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は45.61%、「既婚・18歳未満の子と同居」は31.82%となっ

ている。「勤務先との近さ」をみると、「未婚・子と同居なし」が63.27%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は50.88%、「既婚・18歳未満の子と同居」は34.85%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が54.55%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は17.54%、「未婚・子と同居なし」は3.57%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が18.18%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は4.39%、「未婚・子と同居なし」は0.51%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が27.27%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は3.51%、「未婚・子と同居なし」は0.51%となっている。「教育環境の充実（中学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が6.06%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は1.75%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（高校生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が4.55%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は0.51%、「既婚・子と同居なし」は0%となっている。「豊かな国際性」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が15.15%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は7.02%、「未婚・子と同居なし」は5.10%となっている。

居住者について、「景観・街並み」をみると、「既婚・子と同居なし」が43.10%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は27.93%、「既婚・18歳未満の子と同居」は23.08%となっている。「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」をみると、「既婚・子と同居なし」が10.34%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は3.60%、「既婚・18歳未満の子と同居」は1.10%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「未婚・子と同居なし」が61.26%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は43.10%、「既婚・18歳未満の子と同居」は42.86%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が47.25%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は12.07%、「未婚・子と同居なし」は1.80%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が12.09%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は3.45%、「未婚・子と同居なし」は0.90%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が28.57%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は1.80%、「既婚・子と同居なし」は1.72%となっている。「教育環境の充実（中学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が5.49%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は1.72%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「博物館、美術館など文化施設の充実」をみると、「未婚・子と同居なし」が9.01%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は1.72%、「既婚・18歳未満の子と同居」は0%となっている。「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が17.58%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は6.90%、「未婚・子と同居なし」は6.31%となっている。

転出者について、「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると、「既婚・子と同居なし」が55.71%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は54.69%、「既婚・18歳未満の子と同居」は33.93%となっている。「自然環境への配慮」をみると、「既婚・子と同居なし」が15.71%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は6.25%、「既婚・18歳未満の子と同居」は3.57%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「未婚・子と同居なし」が52.34%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は50.00%、「既婚・18歳未満の子と同居」は25.00%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が55.36%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は17.14%、「未婚・子と同居なし」は5.47%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が8.93%と最大の値を示し、次いで「未

II

III

「未婚・子と同居なし」は1.56%、「既婚・子と同居なし」は1.43%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が16.07%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は2.34%、「既婚・子と同居なし」は1.43%となっている。

図表 2-54 世帯類型別居住環境で重要視している点
【転入者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
未婚・子と同居なし（n=196）	44.90%	75.00%	9.18%	59.69%	28.57%	39.29%	25.51%	50.51%	4.08%
既婚・子と同居なし（n=114）	45.61%	71.05%	15.79%	63.16%	21.05%	31.58%	19.30%	45.61%	0.88%
既婚・18歳未満の子と同居（n=66）	34.85%	62.12%	10.61%	62.12%	18.18%	30.30%	4.55%	31.82%	1.52%
全体（n=376）	43.35%	71.54%	11.44%	61.17%	24.47%	35.37%	19.95%	45.74%	2.66%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
未婚・子と同居なし（n=196）	6.12%	2.04%	7.65%	63.27%	3.57%	0.51%	0.51%	0.00%	0.51%
既婚・子と同居なし（n=114）	7.89%	1.75%	5.26%	50.88%	17.54%	4.39%	3.51%	1.75%	0.00%
既婚・18歳未満の子と同居（n=66）	6.06%	1.52%	10.61%	34.85%	54.55%	18.18%	27.27%	6.06%	4.55%
全体（n=376）	6.65%	1.86%	7.45%	54.52%	16.76%	4.79%	6.12%	1.60%	1.06%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
未婚・子と同居なし（n=196）	5.10%	0.00%	9.18%	4.59%	7.14%	0.00%	1.02%	2.55%	1.53%
既婚・子と同居なし（n=114）	7.02%	1.75%	18.42%	4.39%	10.53%	0.88%	4.39%	3.51%	1.75%
既婚・18歳未満の子と同居（n=66）	15.15%	0.00%	13.64%	1.52%	10.61%	0.00%	1.52%	1.52%	0.00%
全体（n=376）	7.45%	0.53%	12.77%	3.99%	8.78%	0.27%	2.13%	2.66%	1.33%

【居住者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメ ージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
未婚・子と同居なし (n=111)	32.43%	66.67%	18.92%	62.16%	19.82%	27.93%	14.41%	49.55%	3.60%
既婚・子と同居なし (n=58)	27.59%	74.14%	29.31%	55.17%	27.59%	43.10%	24.14%	48.28%	10.34%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=91)	27.47%	63.74%	17.58%	69.23%	16.48%	23.08%	10.99%	37.36%	1.10%
全体(n=260)	29.62%	67.31%	20.77%	63.08%	20.38%	29.62%	15.38%	45.00%	4.23%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=111)	8.11%	1.80%	11.71%	61.26%	1.80%	0.90%	1.80%	0.00%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=58)	3.45%	1.72%	3.45%	43.10%	12.07%	3.45%	1.72%	1.72%	1.72%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=91)	3.30%	2.20%	13.19%	42.86%	47.25%	12.09%	28.57%	5.49%	2.20%
全体(n=260)	5.38%	1.92%	10.38%	50.77%	20.00%	5.38%	11.15%	2.31%	1.15%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=111)	2.70%	0.90%	16.22%	9.01%	6.31%	1.80%	5.41%	0.90%	0.90%
既婚・子と同居なし (n=58)	1.72%	0.00%	22.41%	1.72%	6.90%	0.00%	3.45%	3.45%	1.72%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=91)	5.49%	0.00%	16.48%	0.00%	17.58%	0.00%	2.20%	2.20%	1.10%
全体(n=260)	3.46%	0.38%	17.69%	4.23%	10.38%	0.77%	3.85%	1.92%	1.15%

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメ ージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
未婚・子と同居なし (n=128)	60.16%	67.19%	17.97%	60.16%	17.19%	27.34%	21.09%	54.69%	4.69%
既婚・子と同居なし (n=70)	50.00%	71.43%	10.00%	67.14%	15.71%	25.71%	20.00%	55.71%	1.43%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=56)	55.36%	73.21%	16.07%	64.29%	14.29%	26.79%	16.07%	33.93%	1.79%
全体(n=254)	56.30%	69.69%	15.35%	62.99%	16.14%	26.77%	19.69%	50.39%	3.15%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=128)	6.25%	3.13%	11.72%	52.34%	5.47%	1.56%	2.34%	1.56%	0.78%
既婚・子と同居なし (n=70)	15.71%	7.14%	11.43%	50.00%	17.14%	1.43%	1.43%	1.43%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=56)	3.57%	5.36%	12.50%	25.00%	55.36%	8.93%	16.07%	1.79%	1.79%
全体(n=254)	8.27%	4.72%	11.81%	45.67%	19.69%	3.15%	5.12%	1.57%	0.79%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=128)	3.13%	0.78%	14.06%	4.69%	5.47%	2.34%	1.56%	1.56%	1.56%
既婚・子と同居なし (n=70)	0.00%	1.43%	20.00%	5.71%	1.43%	1.43%	1.43%	1.43%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=56)	1.79%	0.00%	17.86%	1.79%	8.93%	0.00%	1.79%	3.57%	1.79%
全体(n=254)	1.97%	0.79%	16.54%	4.33%	5.12%	1.57%	1.57%	1.97%	1.18%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

II

III

(3) 転入先として港区を選んだ理由

■単純集計

- ・いずれの居住属性でも、「勤務先との近さ」と「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」の割合が高い
- ・上述の項目に次いで、「治安」「まちのイメージ・ブランド力」「景観・街並み」も比較的高い割合である

図表2-55-1は、転入先として港区を選んだ理由の単純集計の結果である。本設問は、港区に転入したことがある人を対象とした設問であり、複数回転入している人は直近の転入について回答してもらうこととしている。

転入者をみると、「勤務先との近さ」が52.50%と最大の値を示し、次いで「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」は51.50%、「治安」は35.50%となっている。

居住者をみると、「勤務先との近さ」が53.79%と最大の値を示し、次いで「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」は45.13%、「治安」は34.30%となっている。

転出者をみると、「勤務先との近さ」が63.18%と最大の値を示し、次いで「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」は51.16%、「まちのイメージ・ブランド力」は36.43%となっている。

図表2-55-1 転入先として港区を選んだ理由（MA・最大5つを選択）（単位：%）

	転入者(n=400)	居住者(n=277)	転出者(n=258)
住宅価格・家賃の水準	14.50	13.36	11.63
公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	51.50	45.13	51.16
防災	6.50	7.22	5.81
治安	35.50	34.30	33.33
まちのイメージ・ブランド力	32.75	26.71	36.43
景観・街並み	27.75	16.97	20.16
飲食店の充実	12.50	11.19	14.73
食料品・日用品・消耗品の買い物環境	12.75	16.61	10.08
食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境	0.25	1.81	0.78
自然環境への配慮	2.75	1.81	1.16
地域コミュニティとの交流・活動	1.00	0.72	0.78
親族・友人・知人が近くにいる	11.75	9.39	7.36
勤務先との近さ	52.50	53.79	63.18
子育て環境の充実	9.25	10.83	7.36
教育環境の充実（就学前）	4.00	5.42	2.71
教育環境の充実（小学生世代）	3.50	5.78	2.33
教育環境の充実（中学生世代）	1.25	1.44	0.00
教育環境の充実（高校生世代）	1.00	0.00	0.78
豊かな国際性	5.25	5.78	5.43
性的少数者への支援の充実	0.25	0.36	0.00
医療機関の充実	4.50	6.50	8.14
博物館、美術館など文化施設の充実	3.25	2.17	3.88
公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	4.25	4.33	5.04
障害者向けの福祉環境の充実	0.25	0.72	0.78
高齢者向けの福祉環境の充実	0.75	0.00	0.00
行政サービスのオンライン化の進展度	2.50	1.44	0.00
その他	7.75	5.78	9.69
無回答	9.00	17.69	10.85

注：「港区に住んだきっかけ」を尋ねた質問で、「生まれてからずっと港区に住んでいる（住んでいた）」と回答した人は、本設問を非該当としている。

また、令和元年度の転入者における、転入先として港区を選んだ理由の調査結果は図表2-55-2のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「勤務先との近さ」が62.20%と最大の値を示し、次いで「公共交通機関の利便性」は45.73%、「まちのイメージ」は39.02%となっており、令和5年度の転入者と類似の傾向である。

図表 2-55-2 令和元年度の調査結果（転入先として港区を選んだ理由）
（MA・最大5つを選択） （単位：%）

	令和元年度 転入者 (n=164)
住宅価格・家賃	15.24
公共交通機関の利便性	45.73
道路交通の利便性	7.32
防災面における安全性	4.88
治安	21.95
まちのイメージ	39.02
景観・街並み	19.51
自然の豊かさ	4.88
飲食店の充実度	11.59
買い物のしやすさ	13.41
環境に配慮したまちづくり	1.22
地域コミュニティの活動	1.22
友人・知人・親族が近くにいる	15.24
勤務先との近さ	62.20
子育て支援の充実	6.71
教育環境の充実（幼稚園・小学校）	6.10
教育環境の充実（中学校）	0.61
教育環境の充実（高等学校）	1.22
生涯学習の機会の充実	0.00
公園の充実	4.27
スポーツ施設の充実	3.66
博物館・美術館など文化施設の充実	2.44
医療機関の充実	4.88
高齢者・障害者向けの福祉環境の充実	0.00
国際性の豊かさ	6.71
その他	6.10
無回答	6.71

■クロス集計

ア 性別

- ・転入者は、「住宅価格・家賃の水準」は「男性」の方が割合が高く、「親族・友人・知人が近くにいる」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」は「女性」の方が割合が高い
- ・居住者は、「勤務先との近さ」「教育環境の充実（就学前）」は「男性」の方が割合が高く、「治安」は「女性」の方が割合が高い
- ・転出者は、「子育て環境の充実」は「男性」の方が割合が高く、「景観・街並み」「親族・友人・知人が近くにいる」は「女性」の方が割合が高い

図表2-56は、性別と転入先として港区を選んだ理由のクロス集計結果である。転入者は「住宅価格・家賃の水準」「親族・友人・知人が近くにいる」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」で、居住者は「治安」「勤務先との近さ」「教育環境の充実（就学前）」で、転出者は「景観・街並み」「親族・友人・知人が近くにいる」「子育て環境の充実」で有意な差がみら

れた。

転入者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると、「男性」が21.84%、「女性」は10.70%となっている。「親族・友人・知人が近くにいる」をみると、「男性」が6.90%、「女性」は18.72%となっている。「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」をみると、「男性」が2.30%、「女性」は6.95%となっている。

居住者について、「治安」をみると、「男性」が36.07%、「女性」は49.50%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「男性」が71.31%、「女性」は56.44%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「男性」が10.66%、「女性」は1.98%となっている。

転出者について、「景観・街並み」をみると、「男性」が16.96%、「女性」は28.57%となっている。「親族・友人・知人が近くにいる」をみると、「男性」が2.68%、「女性」は14.29%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「男性」が12.50%、「女性」は4.46%となっている。

図表 2-56 性別・転入先として港区を選んだ理由

【転入者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメ ージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
男性(n=174)	21.84%	59.20%	6.90%	35.63%	40.80%	31.03%	14.37%	12.07%	0.00%
女性(n=187)	10.70%	54.01%	7.49%	41.71%	31.55%	30.48%	12.83%	14.97%	0.53%
全体(n=361)	16.07%	56.51%	7.20%	38.78%	36.01%	30.75%	13.57%	13.57%	0.28%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
男性(n=174)	2.87%	2.30%	6.90%	59.20%	10.34%	4.60%	3.45%	1.72%	1.15%
女性(n=187)	2.67%	0.00%	18.72%	56.15%	9.63%	3.74%	4.28%	1.07%	1.07%
全体(n=361)	2.77%	1.11%	13.02%	57.62%	9.97%	4.16%	3.88%	1.39%	1.11%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができる 施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
男性(n=174)	5.75%	0.57%	4.02%	4.02%	2.30%	0.57%	1.15%	2.87%	6.32%
女性(n=187)	5.88%	0.00%	5.88%	3.21%	6.95%	0.00%	0.53%	2.67%	10.70%
全体(n=361)	5.82%	0.28%	4.99%	3.60%	4.71%	0.28%	0.83%	2.77%	8.59%

【居住者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメ ージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
男性(n=122)	17.21%	50.82%	5.74%	36.07%	36.89%	19.67%	15.57%	16.39%	1.64%
女性(n=101)	15.84%	60.40%	12.87%	49.50%	27.72%	20.79%	10.89%	25.74%	2.97%
全体(n=223)	16.59%	55.16%	8.97%	42.15%	32.74%	20.18%	13.45%	20.63%	2.24%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
男性(n=122)	0.82%	0.82%	9.84%	71.31%	14.75%	10.66%	7.38%	2.46%	0.00%
女性(n=101)	3.96%	0.99%	13.86%	56.44%	11.88%	1.98%	6.93%	0.99%	0.00%
全体(n=223)	2.24%	0.90%	11.66%	64.57%	13.45%	6.73%	7.17%	1.79%	0.00%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができる 施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
男性(n=122)	4.10%	0.00%	7.38%	1.64%	6.56%	0.00%	0.00%	1.64%	5.74%
女性(n=101)	10.89%	0.00%	8.91%	3.96%	3.96%	1.98%	0.00%	1.98%	8.91%
全体(n=223)	7.17%	0.00%	8.07%	2.69%	5.38%	0.90%	0.00%	1.79%	7.17%

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメー ジ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
男性(n=112)	14.29%	54.46%	6.25%	40.18%	40.18%	16.96%	17.86%	8.93%	1.79%
女性(n=112)	12.50%	61.61%	7.14%	33.04%	40.18%	28.57%	16.07%	14.29%	0.00%
全体(n=224)	13.39%	58.04%	6.70%	36.61%	40.18%	22.77%	16.96%	11.61%	0.89%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
男性(n=112)	1.79%	0.89%	2.68%	73.21%	12.50%	4.46%	1.79%	0.00%	1.79%
女性(n=112)	0.89%	0.89%	14.29%	68.75%	4.46%	1.79%	3.57%	0.00%	0.00%
全体(n=224)	1.34%	0.89%	8.48%	70.98%	8.48%	3.13%	2.68%	0.00%	0.89%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができる 施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
男性(n=112)	5.36%	0.00%	7.14%	3.57%	5.36%	0.00%	0.00%	0.00%	13.39%
女性(n=112)	5.36%	0.00%	11.61%	4.46%	6.25%	1.79%	0.00%	0.00%	8.93%
全体(n=224)	5.36%	0.00%	9.38%	4.02%	5.80%	0.89%	0.00%	0.00%	11.16%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 年齢

- ・「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」は、転入者と転出者で有意な差がみられ、「50～64歳」で割合が高い
- ・「勤務先との近さ」は転入者のみで有意な差がみられ、年齢が低いほど割合が高い
- ・「子育て環境の充実」は居住者のみで有意な差がみられ、「40～49歳」「18～39歳」「50～64歳」の順で割合が高い
- ・「医療機関の充実」は全ての居住属性で有意な差がみられ、年齢が高いほど割合が高い

図表2-57は、年齢と転入先として港区を選んだ理由のクロス集計結果である。転入者は「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「防災」「地域コミュニティとの交流・活動」「勤務先との近さ」「教育環境の充実（中学生世代）」「教育環境の充実（高校生世代）」「医療機関の充実」「高齢者向けの福祉環境の充実」で、居住者は「子育て環境の充実」「教育環境の充実（就学前）」「医療機関の充実」で、転出者は「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「教育環境の充実（就学前）」「医療機関の充実」で有意な差がみられた。

転入者について、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」をみると、「50～64歳」が69.44%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は57.69%、「18～39歳」は51.87%となっている。「防災」をみると、「50～64歳」が13.89%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は5.61%、「40～49歳」は5.13%となっている。「地域コミュニティとの交流・活動」をみると、「40～49歳」が3.85%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は0.47%、「50～64歳」は0%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「18～39歳」が61.68%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は58.97%、「50～64歳」は44.44%となっている。「教育環境の充実（中学生世代）」をみると、「40～49歳」が3.85%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は2.78%、「18～39歳」は0%となっている。「教育環境の充実（高校生世代）」をみると、「40～49歳」が3.85%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は1.39%、「18～39歳」は0%となっている。「医療機関の充実」をみると、「50～64歳」が13.89%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は2.80%、「40～49歳」は2.56%となっている。「高齢者向けの福祉環境の充実」をみると、「50～64歳」が4.17%

と最大の値を示し、「18～39歳」と「40～49歳」は0%となっている。

居住者について、「子育て環境の充実」をみると、「40～49歳」が26.67%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は10.00%、「50～64歳」は4.30%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「40～49歳」が13.33%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は5.00%、「50～64歳」は2.15%となっている。「医療機関の充実」をみると、「50～64歳」が15.05%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は4.00%、「18～39歳」は1.67%となっている。

転出者について、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」をみると、「50～64歳」が70.59%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は52.34%、「40～49歳」は50.91%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「40～49歳」が9.09%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は1.47%、「18～39歳」は0.93%となっている。「医療機関の充実」をみると、「50～64歳」が16.18%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は9.09%、「18～39歳」は4.67%となっている。

図表 2-57 年齢別転入先として港区を選んだ理由
【転入者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18-39歳(n=214)	15.89%	51.87%	5.61%	38.32%	38.32%	32.24%	13.55%	14.95%	0.47%
40-49歳(n=78)	14.10%	57.69%	5.13%	39.74%	28.21%	26.92%	12.82%	10.26%	0.00%
50-64歳(n=72)	18.06%	69.44%	13.89%	40.28%	37.50%	29.17%	15.28%	15.28%	0.00%
全体(n=364)	15.93%	56.59%	7.14%	39.01%	35.99%	30.49%	13.74%	14.01%	0.27%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18-39歳(n=214)	2.34%	0.47%	12.15%	61.68%	12.15%	4.21%	3.74%	0.00%	0.00%
40-49歳(n=78)	1.28%	3.85%	17.95%	58.97%	11.54%	7.69%	5.13%	3.85%	3.85%
50-64歳(n=72)	6.94%	0.00%	9.72%	44.44%	2.78%	1.39%	2.78%	2.78%	1.39%
全体(n=364)	3.02%	1.10%	12.91%	57.69%	10.16%	4.40%	3.85%	1.37%	1.10%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18-39歳(n=214)	6.07%	0.47%	2.80%	3.74%	3.74%	0.00%	0.00%	2.80%	7.01%
40-49歳(n=78)	6.41%	0.00%	2.56%	0.00%	3.85%	0.00%	0.00%	5.13%	12.82%
50-64歳(n=72)	4.17%	0.00%	13.89%	6.94%	8.33%	1.39%	4.17%	0.00%	8.33%
全体(n=364)	5.77%	0.27%	4.95%	3.57%	4.67%	0.27%	0.82%	2.75%	8.52%

【居住者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18-39歳(n=60)	25.00%	53.33%	8.33%	38.33%	25.00%	16.67%	8.33%	16.67%	0.00%
40-49歳(n=75)	10.67%	48.00%	9.33%	44.00%	33.33%	17.33%	13.33%	14.67%	1.33%
50-64歳(n=93)	15.05%	61.29%	8.60%	41.94%	36.56%	25.81%	17.20%	26.88%	4.30%
全体(n=228)	16.23%	54.82%	8.77%	41.67%	32.46%	20.61%	13.60%	20.18%	2.19%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18-39歳(n=60)	0.00%	0.00%	6.67%	66.67%	10.00%	5.00%	5.00%	1.67%	0.00%
40-49歳(n=75)	4.00%	1.33%	10.67%	55.33%	26.67%	13.33%	9.33%	0.00%	0.00%
50-64歳(n=93)	2.15%	1.08%	15.05%	64.52%	4.30%	2.15%	6.45%	3.23%	0.00%
全体(n=228)	2.19%	0.88%	11.40%	65.35%	13.16%	6.58%	7.02%	1.75%	0.00%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18-39歳(n=60)	5.00%	0.00%	1.67%	1.67%	5.00%	0.00%	0.00%	1.67%	8.33%
40-49歳(n=75)	8.00%	1.33%	4.00%	0.00%	4.00%	0.00%	0.00%	1.33%	8.00%
50-64歳(n=93)	7.53%	0.00%	15.05%	5.38%	6.45%	2.15%	0.00%	2.15%	5.38%
全体(n=228)	7.02%	0.44%	7.89%	2.63%	5.26%	0.88%	0.00%	1.75%	7.02%

【転出者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
18-39歳(n=107)	9.35%	52.34%	5.61%	30.84%	39.25%	19.63%	14.95%	9.35%	0.93%
40-49歳(n=55)	14.55%	50.91%	7.27%	36.36%	43.64%	23.64%	21.82%	10.91%	1.82%
50-64歳(n=68)	17.65%	70.59%	7.35%	48.53%	41.18%	26.47%	14.71%	14.71%	0.00%
全体(n=230)	13.04%	57.39%	6.52%	37.39%	40.87%	22.61%	16.52%	11.30%	0.87%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
18-39歳(n=107)	0.93%	0.93%	8.41%	70.09%	4.67%	0.93%	0.93%	0.00%	0.00%
40-49歳(n=55)	1.82%	1.82%	12.73%	65.45%	14.55%	9.09%	3.64%	0.00%	1.82%
50-64歳(n=68)	1.47%	0.00%	4.41%	76.47%	8.82%	1.47%	4.41%	0.00%	1.47%
全体(n=230)	1.30%	0.87%	8.26%	70.87%	8.26%	3.04%	2.61%	0.00%	0.87%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
18-39歳(n=107)	4.67%	0.00%	4.67%	2.80%	6.54%	0.93%	0.00%	0.00%	13.08%
40-49歳(n=55)	9.09%	0.00%	9.09%	1.82%	3.64%	0.00%	0.00%	0.00%	5.45%
50-64歳(n=68)	5.88%	0.00%	16.18%	8.82%	5.88%	1.47%	0.00%	0.00%	11.76%
全体(n=230)	6.09%	0.00%	9.13%	4.35%	5.65%	0.87%	0.00%	0.00%	10.87%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 居住地区

- ・転入者では、「景観・街並み」「飲食店の充実」について、「芝地区」「麻布地区」「赤坂地区」居住者の回答割合が高く、「子育て環境の充実」については「芝浦港南地区」居住者の回答割合が高い
- ・居住者では、「子育て環境の充実」については「高輪地区」「赤坂地区」「芝浦港南地区」居住者の回答割合が高く、「豊かな国際性」については「麻布地区」居住者の回答割合が高い

図表2-58は、居住地区と転入先として港区を選んだ理由のクロス集計結果である。転入者は「景観・街並み」「飲食店の充実」「自然環境への配慮」「子育て環境の充実」「博物館、美術館など文化施設の充実」「その他」で、居住者は「子育て環境の充実」「豊かな国際性」で有意な差がみられた。転出者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転入者について、「景観・街並み」をみると、「麻布地区」が49.09%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は34.55%、「芝地区」は29.89%となっている。「飲食店の充実」をみると、「麻布地区」が29.09%と最大の値を示し、次いで「芝地区」は22.99%、「赤坂地区」は12.73%となっている。「自然環境への配慮」をみると、「高輪地区」が8.33%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は1.82%、「芝浦港南地区」は1.41%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「芝浦港南地区」が26.76%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は10.42%、「麻布地区」と「赤坂地区」は5.45%となっている。「博物館、美術館など文化施設の充実」をみると、「赤坂地区」が10.91%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は4.17%、「麻布地区」は3.64%となっている。

居住者について、「子育て環境の充実」をみると、「高輪地区」が19.72%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は17.65%、「芝浦港南地区」は17.54%となっている。「豊かな国際性」をみると、「麻布地区」が21.95%と最大の値を示し、次いで「芝浦港南地区」は7.02%、「高輪地区」は2.82%となっている。

図表 2-58 居住地区別転入先として港区を選んだ理由

【転入者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買 い物環境
芝地区(n=87)	14.94%	54.02%	4.60%	35.63%	40.23%	29.89%	22.99%	11.49%	0.00%
麻布地区(n=55)	14.55%	49.09%	9.09%	32.73%	38.18%	49.09%	29.09%	10.91%	1.82%
赤坂地区(n=55)	21.82%	54.55%	12.73%	36.36%	30.91%	34.55%	12.73%	20.00%	0.00%
高輪地区(n=96)	12.50%	58.33%	8.33%	41.67%	32.29%	23.96%	2.08%	14.58%	0.00%
芝浦港南地区(n=71)	18.31%	64.79%	2.82%	46.48%	38.03%	22.54%	7.04%	14.08%	0.00%
全体(n=364)	15.93%	56.59%	7.14%	39.01%	35.99%	30.49%	13.74%	14.01%	0.27%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
芝地区(n=87)	1.15%	1.15%	13.79%	63.22%	2.30%	2.30%	2.30%	0.00%	0.00%
麻布地区(n=55)	0.00%	1.82%	10.91%	56.36%	5.45%	0.00%	1.82%	0.00%	0.00%
赤坂地区(n=55)	1.82%	0.00%	7.27%	52.73%	5.45%	3.64%	3.64%	3.64%	1.82%
高輪地区(n=96)	8.33%	0.00%	15.63%	62.50%	10.42%	5.21%	4.17%	1.04%	1.04%
芝浦港南地区(n=71)	1.41%	2.82%	14.08%	49.30%	26.76%	9.86%	7.04%	2.82%	2.82%
全体(n=364)	3.02%	1.10%	12.91%	57.69%	10.16%	4.40%	3.85%	1.37%	1.10%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
芝地区(n=87)	4.60%	0.00%	5.75%	0.00%	3.45%	0.00%	0.00%	2.30%	3.45%
麻布地区(n=55)	9.09%	0.00%	3.64%	3.64%	1.82%	0.00%	0.00%	0.00%	16.36%
赤坂地区(n=55)	5.45%	0.00%	9.09%	10.91%	5.45%	0.00%	0.00%	3.64%	18.18%
高輪地区(n=96)	5.21%	1.04%	2.08%	4.17%	5.21%	1.04%	2.08%	4.17%	8.33%
芝浦港南地区(n=71)	5.63%	0.00%	5.63%	1.41%	7.04%	0.00%	1.41%	2.82%	1.41%
全体(n=364)	5.77%	0.27%	4.95%	3.57%	4.67%	0.27%	0.82%	2.75%	8.52%

【居住者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買 い物環境
芝地区(n=42)	19.05%	64.29%	11.90%	35.71%	21.43%	19.05%	14.29%	28.57%	0.00%
麻布地区(n=41)	14.63%	43.90%	9.76%	39.02%	36.59%	24.39%	24.39%	24.39%	2.44%
赤坂地区(n=17)	17.65%	47.06%	0.00%	47.06%	29.41%	11.76%	5.88%	5.88%	0.00%
高輪地区(n=71)	12.68%	56.34%	14.08%	52.11%	32.39%	18.31%	9.86%	15.49%	4.23%
芝浦港南地区(n=57)	19.30%	56.14%	1.75%	33.33%	38.60%	24.56%	12.28%	21.05%	1.75%
全体(n=228)	16.23%	54.82%	8.77%	41.67%	32.46%	20.61%	13.60%	20.18%	2.19%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
芝地区(n=42)	0.00%	0.00%	9.52%	66.67%	2.38%	4.76%	4.76%	4.76%	0.00%
麻布地区(n=41)	0.00%	0.00%	9.76%	63.41%	4.88%	4.88%	7.32%	2.44%	0.00%
赤坂地区(n=17)	5.88%	0.00%	11.76%	64.71%	17.65%	11.76%	11.76%	0.00%	0.00%
高輪地区(n=71)	2.82%	1.41%	16.90%	69.01%	19.72%	7.04%	4.23%	0.00%	0.00%
芝浦港南地区(n=57)	3.51%	1.75%	7.02%	61.40%	17.54%	7.02%	10.53%	1.75%	0.00%
全体(n=228)	2.19%	0.88%	11.40%	65.35%	13.16%	6.58%	7.02%	1.75%	0.00%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
芝地区(n=42)	2.38%	2.38%	7.14%	2.38%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	9.52%
麻布地区(n=41)	21.95%	0.00%	7.32%	0.00%	4.88%	0.00%	0.00%	2.44%	0.00%
赤坂地区(n=17)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11.76%	5.88%	0.00%	5.88%	11.76%
高輪地区(n=71)	2.82%	0.00%	9.86%	4.23%	2.82%	0.00%	0.00%	0.00%	7.04%
芝浦港南地区(n=57)	7.02%	0.00%	8.77%	3.51%	10.53%	1.75%	0.00%	3.51%	8.77%
全体(n=228)	7.02%	0.44%	7.89%	2.63%	5.26%	0.88%	0.00%	1.75%	7.02%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

エ 居住年数

転出者は、居住年数が高いほど、「子育て環境の充実」「教育環境の充実」の割合が高い

図表 2-59 は、居住年数と転入先として港区を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者は「子育て環境の充実」「教育環境の充実(就学前)」「教育環境の充実(小学生世代)」で有意な差がみら

転出者について、「子育て環境の充実」をみると、「約15年以上」が22.73%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は13.56%、「約5年未満」は1.74%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「約15年以上」が13.64%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は1.69%、「約5年未満」は0%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「約15年以上」が13.64%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は1.69%、「約5年未満」は0%となっている。

【転出者】

		住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性		防災	治安	まちのイメージ・ブランド力		景観・街並み	飲食店の充実		食料品・日用品・消耗品の 買い物環境		食料品・日用品・消耗品以外の 品物(家電や家具等)の買い 物環境				
約5年未満 (n=115)		13.91%		53.04%		4.35%		31.30%		44.35%		21.74%		17.39%		11.30%		1.74%
約5～15年未満 (n=59)		11.86%		66.10%		5.08%		33.90%		37.29%		25.42%		11.86%		8.47%		0.00%
約15年以上 (n=22)		18.18%		59.09%		9.09%		50.00%		50.00%		18.18%		18.18%		9.09%		0.00%
全体(n=196)		13.78%		57.65%		5.10%		34.18%		42.86%		22.45%		15.82%		10.20%		1.02%
		自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動		親族・友人・知 人が近くにいる		勤務先との近さ		子育て環境の 充実		教育環境の充実 (就学前)		教育環境の充実 (小学生世代)		教育環境の充実 (中学生世代)		教育環境の充実 (高校生世代)	
約5年未満 (n=115)		0.87%		1.74%		8.70%		71.30%		1.74%		0.00%		0.00%		0.00%		0.87%
約5～15年未満 (n=59)		3.39%		0.00%		5.08%		72.88%		13.56%		1.69%		1.69%		0.00%		0.00%
約15年以上 (n=22)		0.00%		0.00%		4.55%		72.73%		22.73%		13.64%		13.64%		0.00%		4.55%
全体(n=196)		1.53%		1.02%		7.14%		71.94%		7.65%		2.04%		2.04%		0.00%		1.02%
		豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実		医療機関の充実		博物館、美術館 など文化施設の 充実		公園、スポーツ 施設等身体を動か すことができる 施設の充実		障害者向けの福 祉環境の充実		高齢者向けの福 祉環境の充実		行政サービスの オンライン化の 進展度		その他	
約5年未満 (n=115)		6.96%		0.00%		7.83%		2.61%		7.83%		0.00%		0.00%		0.00%		13.91%
約5～15年未満 (n=59)		6.78%		0.00%		8.47%		6.78%		3.39%		0.00%		0.00%		0.00%		11.86%
約15年以上 (n=22)		0.00%		0.00%		18.18%		9.09%		4.55%		0.00%		0.00%		0.00%		4.55%
全体(n=196)		6.12%		0.00%		9.18%		4.59%		6.12%		0.00%		0.00%		0.00%		12.24%

才 世帯類型

- ・「勤務先との近さ」は、転入者と転出者で有意な差がみられ、未婚・既婚を問わず、子と同居していない人の回答割合が高い
- ・いずれの居住属性でも、「子育て環境の充実」と「教育環境の充実」は「既婚・18歳未満の子と同居」の人の回答割合が最も高い
- ・転入者では「豊かな国際性」において、転出者では「医療機関の充実」において、「既婚・18歳未満の子と同居」の人の回答割合が最も高い

令和5年度 人口変動要因等に関する定点観測調査報告書（令和6年3月発行） 87

品の買い物環境」「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（就学前）」「教育環境の充実（小学生世代）」で、転出者は「勤務先との近さ」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（就学前）」「教育環境の充実（小学生世代）」「医療機関の充実」で有意な差がみられた。

転入者について、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」をみると、「既婚・子と同居なし」が62.75%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は58.56%、「既婚・18歳未満の子と同居」は42.86%となっている。「飲食店の充実」をみると、「未婚・子と同居なし」が18.78%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は10.78%、「既婚・18歳未満の子と同居」は4.76%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「未婚・子と同居なし」が65.75%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は53.92%、「既婚・18歳未満の子と同居」は42.86%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が36.51%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は8.82%、「未婚・子と同居なし」は1.10%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が19.05%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は2.94%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が20.63%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は0.98%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（中学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が6.35%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は0.98%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（高校生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が4.76%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」と「既婚・子と同居なし」は0%となっている。「豊かな国際性」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が14.29%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は5.88%、「未婚・子と同居なし」は3.31%となっている。

居住者について、「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」をみると、「未婚・子と同居なし」が28.57%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は22.92%、「既婚・18歳未満の子と同居」は9.86%となっている。「食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境」をみると、「既婚・子と同居なし」が6.25%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は1.41%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が38.03%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は2.08%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が19.72%と最大の値を示し、「未婚・子と同居なし」と「既婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が16.90%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は2.38%、「既婚・子と同居なし」は2.08%となっている。

転出者について、「勤務先との近さ」をみると、「既婚・子と同居なし」が80.65%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は70.91%、「既婚・18歳未満の子と同居」は56.52%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が28.26%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は3.23%、「未婚・子と同居なし」は2.73%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が13.04%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」と「既婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が8.70%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は0.91%、「既婚・子と同居なし」は0%となっている。「医療機関の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が15.22%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は12.90%、「未

婚・子と同居なし」は2.73%となっている。

図表 2-60 世帯類型別転入先として港区を選んだ理由

【転入者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメー ジ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
未婚・子と同居なし (n=181)	12.15%	58.56%	5.52%	37.02%	35.36%	30.94%	18.78%	13.81%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=102)	18.63%	62.75%	10.78%	43.14%	40.20%	34.31%	10.78%	16.67%	0.98%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=63)	23.81%	42.86%	4.76%	39.68%	30.16%	22.22%	4.76%	11.11%	0.00%
全体(n=346)	16.18%	56.94%	6.94%	39.31%	35.84%	30.35%	13.87%	14.16%	0.29%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=181)	2.76%	1.10%	13.26%	65.75%	1.10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=102)	2.94%	1.96%	11.76%	53.92%	8.82%	2.94%	0.98%	0.98%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=63)	4.76%	0.00%	14.29%	42.86%	36.51%	19.05%	20.63%	6.35%	4.76%
全体(n=346)	3.18%	1.16%	13.01%	58.09%	9.83%	4.34%	4.05%	1.45%	0.87%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=181)	3.31%	0.00%	4.42%	2.76%	5.52%	0.00%	0.00%	1.10%	6.63%
既婚・子と同居なし (n=102)	5.88%	0.98%	6.86%	3.92%	2.94%	0.98%	1.96%	4.90%	10.78%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=63)	14.29%	0.00%	4.76%	3.17%	3.17%	0.00%	1.59%	4.76%	11.11%
全体(n=346)	6.07%	0.29%	5.20%	3.18%	4.34%	0.29%	0.87%	2.89%	8.67%

【居住者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメー ジ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
未婚・子と同居なし (n=84)	16.67%	54.76%	7.14%	36.90%	33.33%	21.43%	14.29%	28.57%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=48)	22.92%	64.58%	8.33%	37.50%	35.42%	25.00%	20.83%	22.92%	6.25%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=71)	12.68%	47.89%	8.45%	43.66%	32.39%	16.90%	9.86%	9.86%	1.41%
全体(n=203)	16.75%	54.68%	7.88%	39.41%	33.50%	20.69%	14.29%	20.69%	1.97%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=84)	0.00%	0.00%	10.71%	66.67%	0.00%	0.00%	2.38%	0.00%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=48)	2.08%	2.08%	10.42%	58.33%	2.08%	0.00%	2.08%	0.00%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=71)	2.82%	0.00%	14.08%	74.65%	38.03%	19.72%	16.90%	4.23%	0.00%
全体(n=203)	1.48%	0.49%	11.82%	67.49%	13.79%	6.90%	7.39%	1.48%	0.00%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=84)	4.76%	1.19%	10.71%	2.38%	4.76%	1.19%	0.00%	2.38%	10.71%
既婚・子と同居なし (n=48)	4.17%	0.00%	6.25%	2.08%	4.17%	0.00%	0.00%	2.08%	6.25%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=71)	8.45%	0.00%	5.63%	0.00%	4.23%	0.00%	0.00%	1.41%	4.23%
全体(n=203)	5.91%	0.49%	7.88%	1.48%	4.43%	0.49%	0.00%	1.97%	7.39%

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む) ・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメー ジ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
未婚・子と同居なし (n=110)	13.64%	56.36%	5.45%	30.91%	44.55%	23.64%	19.09%	10.91%	1.82%
既婚・子と同居なし (n=62)	12.90%	59.68%	9.68%	48.39%	41.94%	17.74%	14.52%	17.74%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=46)	8.70%	56.52%	4.35%	36.96%	34.78%	23.91%	13.04%	6.52%	0.00%
全体(n=218)	12.39%	57.34%	6.42%	37.16%	41.74%	22.02%	16.51%	11.93%	0.92%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=110)	0.91%	0.91%	7.27%	70.91%	2.73%	0.00%	0.91%	0.00%	0.00%
既婚・子と同居なし (n=62)	1.61%	0.00%	8.06%	80.65%	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%	1.61%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=46)	2.17%	2.17%	10.87%	56.52%	28.26%	13.04%	8.70%	0.00%	2.17%
全体(n=218)	1.38%	0.92%	8.26%	70.64%	8.26%	2.75%	2.29%	0.00%	0.92%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=110)	3.64%	0.00%	2.73%	2.73%	6.36%	0.91%	0.00%	0.00%	8.18%
既婚・子と同居なし (n=62)	4.84%	0.00%	12.90%	8.06%	6.45%	0.00%	0.00%	0.00%	14.52%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=46)	13.04%	0.00%	15.22%	2.17%	2.17%	0.00%	0.00%	0.00%	13.04%
全体(n=218)	5.96%	0.00%	8.26%	4.13%	5.50%	0.46%	0.00%	0.00%	11.01%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

(4) 転出先を選んだ理由

■単純集計

- ・いずれの居住属性でも「住宅価格・家賃の水準」の割合が高い
- ・転出者では、「住宅価格・家賃の水準」に加え、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」と「勤務先との近さ」の割合も高い

図表2-61-1は、転出先を選んだ理由の単純集計の結果である。本設問は、港区から転出したことがある人を対象とした設問であり、複数回転出している人は直近の転出について回答してもらうこととしている。なお、「無回答」には、「港区から一度も転出したことがない人（生まれてからずっと港区に住んでいる（住んでいた）人を除く。）」と「無回答の人」を含んでいることに留意されたい。

転入者をみると、「住宅価格・家賃の水準」が5.50%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「勤務先との近さ」は3.50%、「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」は3.00%となっている。

居住者をみると、「その他」が2.89%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「住宅価格・家賃の水準」は2.17%、「治安」と「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」は1.81%となっている。

転出者をみると、「住宅価格・家賃の水準」が45.32%と最大の値を示し、次いで「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」は34.53%、「勤務先との近さ」は32.73%となっている。

図表 2-61-1 転出先を選んだ理由 (MA・最大5つを選択)

(単位 %)

	転入者(n=400)	居住者(n=277)	転出者(n=278)
住宅価格・家賃の水準	5.50	2.17	45.32
公共交通機関(道路交通を含む)・公共施設の利便性	2.50	0.72	34.53
防災	0.50	0.36	6.47
治安	1.25	1.81	25.18
まちのイメージ・ブランド力	1.00	1.44	7.55
景観・街並み	0.75	0.72	17.27
飲食店の充実	1.00	0.72	10.07
食料品・日用品・消耗品の買い物環境	3.00	1.81	23.74
食料品・日用品・消耗品以外の品物(家電や家具等)の買い物環境	0.50	1.08	3.24
自然環境への配慮	0.50	0.72	9.35
地域コミュニティとの交流・活動	0.00	0.00	3.60
親族・友人・知人が近くにいる	1.50	1.44	16.91
勤務先との近さ	3.50	1.44	32.73
子育て環境の充実	0.00	0.36	7.55
教育環境の充実(就学前)	0.00	0.36	2.16
教育環境の充実(小学生世代)	0.00	0.00	2.52
教育環境の充実(中学生世代)	0.00	0.00	0.72
教育環境の充実(高校生世代)	0.00	0.00	0.72
豊かな国際性	0.25	0.00	0.72
性的少数者への支援の充実	0.00	0.00	0.00
医療機関の充実	0.00	0.36	3.60
博物館、美術館など文化施設の充実	0.25	0.00	0.72
公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	1.00	0.72	8.27
障害者向けの福祉環境の充実	0.00	0.00	1.44
高齢者向けの福祉環境の充実	0.00	0.00	0.36
行政サービスのオンライン化の進展度	0.00	0.00	0.36
その他	4.25	2.89	22.30
無回答	88.50	92.78	2.52

注：転入者、居住者は、過去に港区から転出した経験がある人が回答している。また、「無回答」には、「港区から一度も転出したことがない人(生まれてからずっと港区に住んでいる(住んでいた)人を除く。)」と「無回答の人」を含んでいる。

また、令和元年度の転出者における、転出先を選んだ理由の調査結果は図表 2-61-2 のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「住宅価格・家賃の水準」が 39.89%と最大の値を示し、次いで「勤務先との近さ」は 37.23%、「公共交通機関の利便性」は 32.98%となっており、令和5年度の転出者と同傾向である。

図表 2-61-2 令和元年度の調査結果（転出先を選んだ理由）（MA・最大5つを選択）

	令和元年度 転出者 (n=188)	(単位 %)
住宅価格・家賃	39.89	
公共交通機関の利便性	32.98	
道路交通の利便性	10.11	
防災面における安全性	2.66	
治安	15.43	
まちのイメージ	14.36	
景観・街並み	13.30	
自然の豊かさ	17.55	
飲食店の充実度	7.98	
買い物のしやすさ	30.85	
環境に配慮したまちづくり	1.06	
地域コミュニティの活動	0.53	
友人・知人・親族が近くにいる	17.02	
勤務先との近さ	37.23	
子育て支援の充実	3.19	
教育環境の充実（幼稚園・小学校）	6.91	
教育環境の充実（中学校）	0.00	
教育環境の充実（高等学校）	0.00	
生涯学習の機会の充実	0.53	
公園の充実	7.98	
スポーツ施設の充実	0.53	
博物館・美術館など文化施設の充実	0.00	
医療機関の充実	2.13	
高齢者・障害者向けの福祉環境の充実	0.00	
国際性の豊かさ	0.53	
その他	6.38	
無回答	5.85	

■クロス集計

ア 性別

- ・転出者のみ有意な差がみられた
- ・「防災」は「男性」の方が回答割合が高い

図表 2-62 は、性別と転出先を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者は「防災」で有意な差がみられた。転入者と居住者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転出者について、「防災」をみると、「男性」が 10.24%、「女性」は 3.62%となっている。

図表 2-62 性別・転出先を選んだ理由

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・ 消耗品の買い物環境	食料品・日用品・ 消耗品以外の品物(家電や 家具等)の買い物環境
男性(n=127)	49.61%	38.58%	10.24%	28.35%	7.87%	22.05%	11.81%	19.69%	2.36%
女性(n=138)	44.20%	32.61%	3.62%	23.91%	7.97%	13.77%	9.42%	29.71%	4.35%
全体(n=265)	46.79%	35.47%	6.79%	26.04%	7.92%	17.74%	10.57%	24.91%	3.40%
	自然環境への 配慮	地域コミュニティとの交流・ 活動	親族・友人・知人 が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
男性(n=127)	9.45%	2.36%	13.39%	31.50%	11.02%	1.57%	3.15%	1.57%	0.79%
女性(n=138)	10.14%	4.35%	21.74%	35.51%	5.07%	2.90%	2.17%	0.00%	0.72%
全体(n=265)	9.81%	3.40%	17.74%	33.58%	7.92%	2.26%	2.64%	0.75%	0.75%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動か すことができる 施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の進 展度	その他
男性(n=127)	0.00%	0.00%	3.15%	0.79%	7.87%	0.79%	0.79%	0.79%	24.41%
女性(n=138)	1.45%	0.00%	3.62%	0.72%	9.42%	0.00%	0.00%	0.00%	22.46%
全体(n=265)	0.75%	0.00%	3.40%	0.75%	8.68%	1.51%	0.38%	0.38%	23.40%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

イ 年齢

- ・転出者のみ有意な差がみられた
- ・年齢が高いほど「景観・街並み」「自然環境への配慮」の割合が高い
- ・「18～39歳」と「40～49歳」の「子育て環境の充実」の割合が高い

図表 2-63 は、年齢と転出先を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者では「景観・街並み」「自然環境への配慮」「子育て環境の充実」で有意な差がみられた。転入者と居住者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転出者について「景観・街並み」をみると、「50～64歳」が29.11%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は26.56%、「18～39歳」は6.25%となっている。「自然環境への配慮」をみると、「50～64歳」が21.52%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は7.81%、「18～39歳」は3.13%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「40～49歳」が12.50%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は9.38%、「50～64歳」は1.27%となっている。

図表 2-63 年齢別転出先を選んだ理由

【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・ 消耗品の買い物環境	食料品・日用品・ 消耗品以外の品物(家電や家具等) の買い物環境
18-39歳(n=128)	49.22%	32.81%	5.47%	20.31%	7.81%	6.25%	10.16%	23.44%	4.69%
40-49歳(n=64)	50.00%	34.38%	6.25%	28.13%	4.69%	26.56%	9.38%	25.00%	1.56%
50-64歳(n=79)	39.24%	40.51%	8.86%	32.91%	10.13%	29.11%	11.39%	25.32%	2.53%
全体(n=271)	46.49%	35.42%	6.64%	25.83%	7.75%	17.71%	10.33%	24.35%	3.32%
	自然環境への 配慮	地域コミュニティとの交流・ 活動	親族・友人・知人 が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
18-39歳(n=128)	3.13%	3.91%	19.53%	37.50%	9.38%	3.13%	2.34%	1.56%	0.78%
40-49歳(n=64)	7.81%	3.13%	18.75%	28.13%	12.50%	3.13%	4.69%	0.00%	0.00%
50-64歳(n=79)	21.52%	3.80%	12.66%	31.65%	1.27%	0.00%	1.27%	0.00%	1.27%
全体(n=271)	9.59%	3.69%	17.34%	33.58%	7.75%	2.21%	2.58%	0.74%	0.74%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動か すことができる 施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の進 展度	その他
18-39歳(n=128)	0.00%	0.00%	3.13%	0.00%	7.03%	0.78%	0.00%	0.00%	23.44%
40-49歳(n=64)	0.00%	0.00%	3.13%	0.00%	9.38%	1.56%	0.00%	0.00%	18.75%
50-64歳(n=79)	2.53%	0.00%	5.06%	2.53%	10.13%	2.53%	1.27%	1.27%	25.32%
全体(n=271)	0.74%	0.00%	3.69%	0.74%	8.49%	1.48%	0.37%	0.37%	22.88%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

ウ 居住地区

- ・転出者のみ有意な差がみられた
- ・「特別区（東京都23区）外」の方が「自然環境への配慮」と「親族・友人・知人が近くにいる」の割合が高く、「特別区（東京都23区）内」の方が「住宅価格・家賃の水準」と「飲食店の充実」の割合が高い

図表2-64は、居住地区と転出先を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者では「住宅価格・家賃の水準」「飲食店の充実」「自然環境への配慮」「親族・友人・知人が近くにいる」で有意な差がみられた。転入者と居住者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転出者について、「住宅価格・家賃の水準」をみると、「特別区（東京都23区）内」が55.22%、「特別区（東京都23区）外」は37.96%となっている。「飲食店の充実」をみると、「特別区（東京都23区）内」が15.67%、「特別区（東京都23区）外」は5.11%となっている。「自然環境への配慮」をみると、「特別区（東京都23区）内」が5.22%、「特別区（東京都23区）外」は13.87%となっている。「親族・友人・知人が近くにいる」をみると、「特別区（東京都23区）内」が12.69%、「特別区（東京都23区）外」は21.90%となっている。

図表2-64 居住地区別転出先を選んだ理由
【転出者】

	住宅価格・家賃の水準	公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買い物環境	食料品・日用品・消耗品以外の品物（家電や家具等）の買い物環境
特別区（東京都23区）内（n=134）	55.22%	40.30%	3.73%	26.87%	8.21%	17.91%	15.67%	23.88%	1.49%
特別区（東京都23区）外（n=137）	37.96%	30.66%	9.49%	24.82%	7.30%	17.52%	5.11%	24.82%	5.11%
全体（n=271）	46.49%	35.42%	6.64%	25.83%	7.75%	17.71%	10.33%	24.35%	3.32%
	自然環境への配慮	地域コミュニティとの交流・活動	親族・友人・知人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の充実	教育環境の充実（就学前）	教育環境の充実（小学生世代）	教育環境の充実（中学生世代）	教育環境の充実（高校生世代）
特別区（東京都23区）内（n=134）	5.22%	2.24%	12.69%	38.81%	6.72%	2.99%	2.24%	0.75%	1.49%
特別区（東京都23区）外（n=137）	13.87%	5.11%	21.90%	28.47%	8.76%	1.46%	2.92%	0.73%	0.00%
全体（n=271）	9.59%	3.69%	17.34%	33.58%	7.75%	2.21%	2.58%	0.74%	0.74%
	豊かな国際性	性的少数者への支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館など文化施設の充実	公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実	障害者向けの福祉環境の充実	高齢者向けの福祉環境の充実	行政サービスのオンライン化の進展度	その他
特別区（東京都23区）内（n=134）	0.75%	0.00%	2.99%	0.00%	5.97%	2.24%	0.75%	0.75%	20.90%
特別区（東京都23区）外（n=137）	0.73%	0.00%	4.38%	1.46%	10.95%	0.73%	0.00%	0.00%	24.82%
全体（n=271）	0.74%	0.00%	3.69%	0.74%	8.49%	1.48%	0.37%	0.37%	22.88%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

エ 居住年数

- ・転出者のみ有意な差がみられた
- ・「自然環境への配慮」は、「約5～15年未満」で2割程度

図表2-65は、居住年数と転出先を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者では「自然環境への配慮」で有意な差がみられた。居住者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転出者について、「自然環境への配慮」をみると、「約5～15年未満」が19.05%と最大の値を示し、次いで「約15年以上」は8.89%、「約5年未満」は3.48%となっている。

図表 2-65 居住年数別転出先を選んだ理由
【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメ ージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用 品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用 品・消耗品以外 の品物(家電や 家具等)の買い 物環境
約5年未満 (n=115)	49.57%	40.00%	4.35%	20.00%	9.57%	14.78%	10.43%	26.09%	4.35%
約5～15年未満 (n=63)	46.03%	34.92%	7.94%	36.51%	7.94%	14.29%	7.94%	17.46%	0.00%
約15年以上 (n=45)	46.67%	28.89%	6.67%	26.67%	8.89%	28.89%	11.11%	24.44%	8.89%
全体(n=223)	47.98%	36.32%	5.83%	26.01%	8.97%	17.49%	9.87%	23.32%	4.04%
	自然環境への 配慮	地域コミュニ ティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
約5年未満 (n=115)	3.48%	2.61%	21.74%	35.65%	7.83%	1.74%	1.74%	0.87%	0.87%
約5～15年未満 (n=63)	19.05%	7.94%	17.46%	26.98%	7.94%	1.59%	4.76%	1.59%	0.00%
約15年以上 (n=45)	8.89%	2.22%	8.89%	33.33%	4.44%	2.22%	0.00%	0.00%	0.00%
全体(n=223)	8.97%	4.04%	17.94%	32.74%	7.17%	1.79%	2.24%	0.90%	0.45%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動か すことができる施設 の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
約5年未満 (n=115)	0.00%	0.00%	2.61%	0.00%	8.70%	1.74%	0.87%	0.00%	23.48%
約5～15年未満 (n=63)	1.59%	0.00%	3.17%	1.59%	9.52%	0.00%	0.00%	0.00%	23.81%
約15年以上 (n=45)	0.00%	0.00%	0.00%	2.22%	4.44%	0.00%	0.00%	2.22%	24.44%
全体(n=223)	0.45%	0.00%	2.24%	0.90%	8.07%	0.90%	0.45%	0.45%	23.77%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

オ 世帯類型

- ・転出者のみ有意な差がみられた
- ・「子育て環境の充実」「教育環境の充実」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」は、「既婚・18歳未満の子と同居」の割合が最も高い

図表 2-66 は、世帯類型と転出先を選んだ理由のクロス集計結果である。転出者では「飲食店の充実」「勤務先との近さ」「子育て環境の充実」「教育環境の充実（就学前）」「教育環境の充実（小学生世代）」「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」で有意な差がみられた。転入者と居住者ではいずれの項目でも有意な差がみられなかった。

転出者について、「飲食店の充実」をみると、「未婚・子と同居なし」が15.08%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は8.22%、「既婚・18歳未満の子と同居」は3.51%となっている。「勤務先との近さ」をみると、「既婚・子と同居なし」が39.73%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は37.30%、「既婚・18歳未満の子と同居」は17.54%となっている。「子育て環境の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が26.32%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は4.11%、「未婚・子と同居なし」は1.59%となっている。「教育環境の充実（就学前）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が8.77%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は1.37%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「教育環境の充実（小学生世代）」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が10.53%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は1.37%、「未婚・子と同居なし」は0%となっている。「公園、スポーツ施設等身体を動かすことができる施設の充実」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が17.54%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は5.56%、「既婚・子と同居なし」は5.48%となっている。

図表 2-66 世帯類型別転出先を選んだ理由
【転出者】

	住宅価格・家賃 の水準	公共交通機関 (道路交通を含む)・公共施設 の利便性	防災	治安	まちのイメージ・ブランド力	景観・街並み	飲食店の充実	食料品・日用品・消耗品の買 い物環境	食料品・日用品・消耗品以外 の品物(家電や家具等)の買 い物環境
未婚・子と同居なし (n=126)	44.44%	33.33%	6.35%	21.43%	9.52%	15.08%	15.08%	23.81%	2.38%
既婚・子と同居なし (n=73)	45.21%	39.73%	4.11%	23.29%	2.74%	16.44%	8.22%	28.77%	5.48%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=57)	47.37%	28.07%	7.02%	31.58%	5.26%	19.30%	3.51%	21.05%	1.75%
全体(n=256)	45.31%	33.98%	5.86%	24.22%	6.64%	16.41%	10.55%	24.61%	3.13%
	自然環境への 配慮	地域コミュニティとの交流・ 活動	親族・友人・知 人が近くにいる	勤務先との近さ	子育て環境の 充実	教育環境の充実 (就学前)	教育環境の充実 (小学生世代)	教育環境の充実 (中学生世代)	教育環境の充実 (高校生世代)
未婚・子と同居なし (n=126)	8.73%	3.17%	15.87%	37.30%	1.59%	0.00%	0.00%	0.00%	0.79%
既婚・子と同居なし (n=73)	6.85%	2.74%	21.92%	39.73%	4.11%	1.37%	1.37%	1.37%	0.00%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=57)	10.53%	5.26%	19.30%	17.54%	26.32%	8.77%	10.53%	1.75%	0.00%
全体(n=256)	8.59%	3.52%	18.36%	33.59%	7.81%	2.34%	2.73%	0.78%	0.39%
	豊かな国際性	性的少数者への 支援の充実	医療機関の充実	博物館、美術館 など文化施設の 充実	公園、スポーツ 施設等身体を動 かすことができ る施設の充実	障害者向けの福 祉環境の充実	高齢者向けの福 祉環境の充実	行政サービスの オンライン化の 進展度	その他
未婚・子と同居なし (n=126)	0.00%	0.00%	3.97%	0.00%	5.56%	1.59%	0.00%	0.00%	19.84%
既婚・子と同居なし (n=73)	0.00%	0.00%	4.11%	1.37%	5.48%	1.37%	1.37%	1.37%	28.77%
既婚・18歳未満の子と 同居(n=57)	0.00%	0.00%	3.51%	0.00%	17.54%	0.00%	0.00%	0.00%	24.56%
全体(n=256)	0.00%	0.00%	3.91%	0.39%	8.20%	1.17%	0.39%	0.39%	23.44%

注：下線部は5%水準の有意確率(p.<0.05)。

5 家計の現状と今後の見通し

(1) 年間収入

■単純集計

いずれの居住属性でも、個人年収は「300～700万円未満」の割合が高く、世帯年収は転入者と居住者が「1500～3000万円未満」、転出者は「2000～3000万円未満」の割合が高い

図表2-67-1は、昨年（2022年）の年間収入（額面）の単純集計の結果である。

「(イ) 個人年収」について、転入者をみると、「500万円～1500万円未満」が44.00%（9.00+8.00+6.25+6.25+2.25+6.75+1.25+2.50+1.25+0.50）と最大の値を示し、次いで「500万円未満」は30.50%（6.75+2.50+5.50+7.75+8.00）、「1500万円以上」は12.50%（4.00+3.00+3.75+1.25+0.50）となっている。所得階級別では、「500～600万円未満」が9.00%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「400～500万円未満」と「600～700万円未満」は8.00%となっている。

居住者をみると、「500万円～1500万円未満」が41.25%（5.61+7.92+6.27+6.27+2.31+4.62+1.98+2.97+2.64+0.66）と最大の値を示し、次いで「500万円未満」は29.70%（9.90+3.96+2.64+6.60+6.60）、「1500万円以上」は17.16%（8.25+5.28+1.98+0.99+0.66）であり、転入者、転出者と比較して「1500万円以上」の割合が高くなっている。所得階級別では、「100万円未満」が9.90%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「1500～2000万円未満」は8.25%、「600～700万円未満」は7.92%となっている。

転出者をみると、「500万円～1500万円未満」が43.53%（7.19+8.27+6.47+3.96+2.88+8.63+0.72+3.24+0.72+1.44）と最大の値を示し、次いで「500万円未満」は32.37%（7.19+2.16+5.40+9.71+7.91）、「1500万円以上」は11.87%（5.76+3.24+1.44+0.00+1.44）となっている。所得階級別では、「300～400万円未満」が9.71%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「1000～1100万円未満」は8.63%、「600～700万円未満」は8.27%となっている。

「(ロ) 世帯年収」について、転入者をみると、「500万円～1500万円未満」が37.50%（6.25+3.25+6.00+3.75+1.25+8.25+1.25+3.25+2.75+1.50）と最大の値を示し、次いで「500万円未満」は19.25%（3.25+1.50+3.25+5.50+5.75）、「1500万円以上」は26.25%（9.50+8.50+5.50+1.75+1.00）となっている。所得階級別では「1500～2000万円未満」が9.50%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「2000～3000万円未満」は8.50%、「1000～1100万円未満」は8.25%となっている。

居住者をみると、「500万円～1500万円未満」が33.66%（1.98+5.28+3.30+6.60+2.64+6.60+1.32+3.30+1.65+0.99）と最大の値を示し、次いで「1500万円以上」は32.01%（14.52+9.90+5.94+0.99+0.66）、「500万円未満」は17.49%（4.62+2.97+1.32+3.63+4.95）であり、転入者、転出者と比較して「1500万円以上」の割合が高くなっている。所得階級別では「1500～2000万円未満」が14.52%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「2000～3000万円未満」は9.90%、「800～900万円」と「1000～1100万円未満」は6.60%となっている。

転出者をみると、「500万円～1500万円未満」が39.57%（3.96+6.47+3.24+3.60+4.32+7.91+1.44+3.96+2.52+2.16）と最大の値を示し、次いで「500万円未満」は21.22%（2.88+0.72+5.04+6.83+5.76）、「1500万円以上」は20.14%（7.55+8.63+3.24+0.00+0.72）となっている。所得階級別では「2000～3000万円未満」が8.63%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「1000～1100万円未満」は7.91%、「1500～2000万円未満」は7.55%となっている。

図表 2-67-1 年間収入（額面）（FA）
（イ）個人年収

（単位：%）

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
100万円未満	6.75	9.90	7.19
100～200万円未満	2.50	3.96	2.16
200～300万円未満	5.50	2.64	5.40
300～400万円未満	7.75	6.60	9.71
400～500万円未満	8.00	6.60	7.91
500～600万円未満	9.00	5.61	7.19
600～700万円未満	8.00	7.92	8.27
700～800万円未満	6.25	6.27	6.47
800～900万円未満	6.25	6.27	3.96
900～1000万円未満	2.25	2.31	2.88
1000～1100万円未満	6.75	4.62	8.63
1100～1200万円未満	1.25	1.98	0.72
1200～1300万円未満	2.50	2.97	3.24
1300～1400万円未満	1.25	2.64	0.72
1400～1500万円未満	0.50	0.66	1.44
1500～2000万円未満	4.00	8.25	5.76
2000～3000万円未満	3.00	5.28	3.24
3000～5000万円未満	3.75	1.98	1.44
5000万円～1億円未満	1.25	0.99	0.00
1億円以上	0.50	0.66	1.44
無回答	13.00	11.88	12.23

（単位：%）

（ロ）世帯年収

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
100万円未満	3.25	4.62	2.88
100～200万円未満	1.50	2.97	0.72
200～300万円未満	3.25	1.32	5.04
300～400万円未満	5.50	3.63	6.83
400～500万円未満	5.75	4.95	5.76
500～600万円未満	6.25	1.98	3.96
600～700万円未満	3.25	5.28	6.47
700～800万円未満	6.00	3.30	3.24
800～900万円未満	3.75	6.60	3.60
900～1000万円未満	1.25	2.64	4.32
1000～1100万円未満	8.25	6.60	7.91
1100～1200万円未満	1.25	1.32	1.44
1200～1300万円未満	3.25	3.30	3.96
1300～1400万円未満	2.75	1.65	2.52
1400～1500万円未満	1.50	0.99	2.16
1500～2000万円未満	9.50	14.52	7.55
2000～3000万円未満	8.50	9.90	8.63
3000～5000万円未満	5.50	5.94	3.24
5000万円～1億円未満	1.75	0.99	0.00
1億円以上	1.00	0.66	0.72
無回答	17.00	16.83	19.06

また、令和4年度の世帯年収の調査結果は図表2-67-2のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「200万円以上1000万円未満」の割合が高い。

図表 2-67-2 令和4年度の調査結果（世帯年収）（SA）

	令和4年度 (n=550)	(単位 %)
なし	2.73	
100万円未満	2.36	
100万円以上200万円未満	1.64	
200万円以上400万円未満	8.36	
400万円以上600万円未満	13.45	
600万円以上800万円未満	10.00	
800万円以上1000万円未満	11.09	
1000万円以上1200万円未満	6.00	
1200万円以上1400万円未満	7.82	
1400万円以上1600万円未満	5.45	
1600万円以上1800万円未満	1.82	
1800万円以上2000万円未満	2.55	
2000万円以上2200万円未満	2.36	
2200万円以上2400万円未満	0.36	
2400万円以上2600万円未満	0.91	
2600万円以上2800万円未満	0.36	
2800万円以上3000万円未満	1.27	
3000万円以上6000万円未満	1.64	
6000万円以上1億円未満	0.73	
1億円以上3億円未満	0.36	
3億円以上	0.18	
分からない/答えたくない	18.55	

注：令和5年度の設問は、年間収入の定義を設けていないが、令和4年度の設問では、「年金や社会保障給付等の金額も含む」としている。また、令和4年度は2021年の年収を尋ねている。

■クロス集計

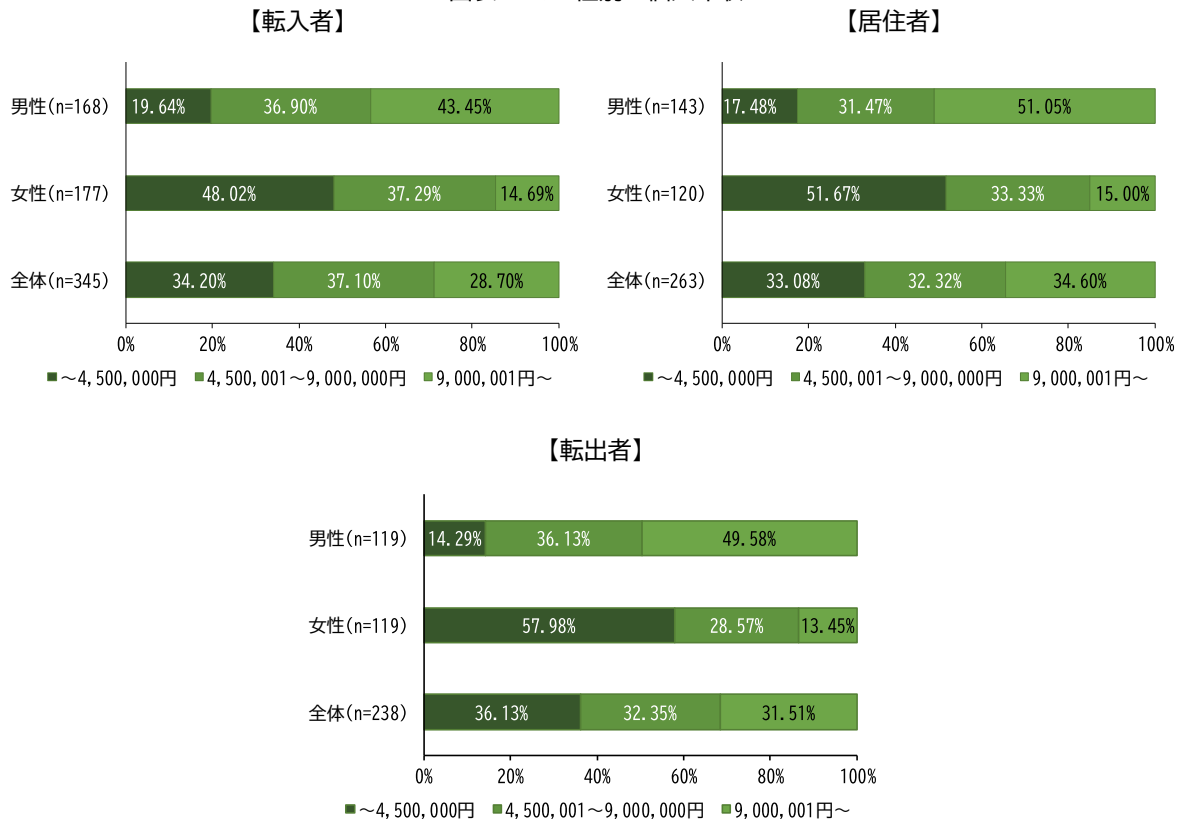
ア 個人年収－性別

いずれの居住属性でも「男性」の方が「9,000,001円以上」の割合が高い

図表2-68は、性別と個人年収3分位（以下、「個人年収」という。）のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられ、いずれの居住属性でも同傾向となっている。

転入者について、「9,000,001円～」をみると、「男性」が43.45%、「女性」は14.69%となっている。
居住者について、「9,000,001円～」をみると、「男性」が51.05%、「女性」は15.00%となっている。
転出者について、「9,000,001円～」をみると、「男性」が49.58%、「女性」は13.45%となっている。

図表 2-68 性別・個人年収



イ 個人年収－年齢

転入者は「40～49歳」で、居住者と転出者は「50～64歳」で「9,000,001円以上」の割合が高い

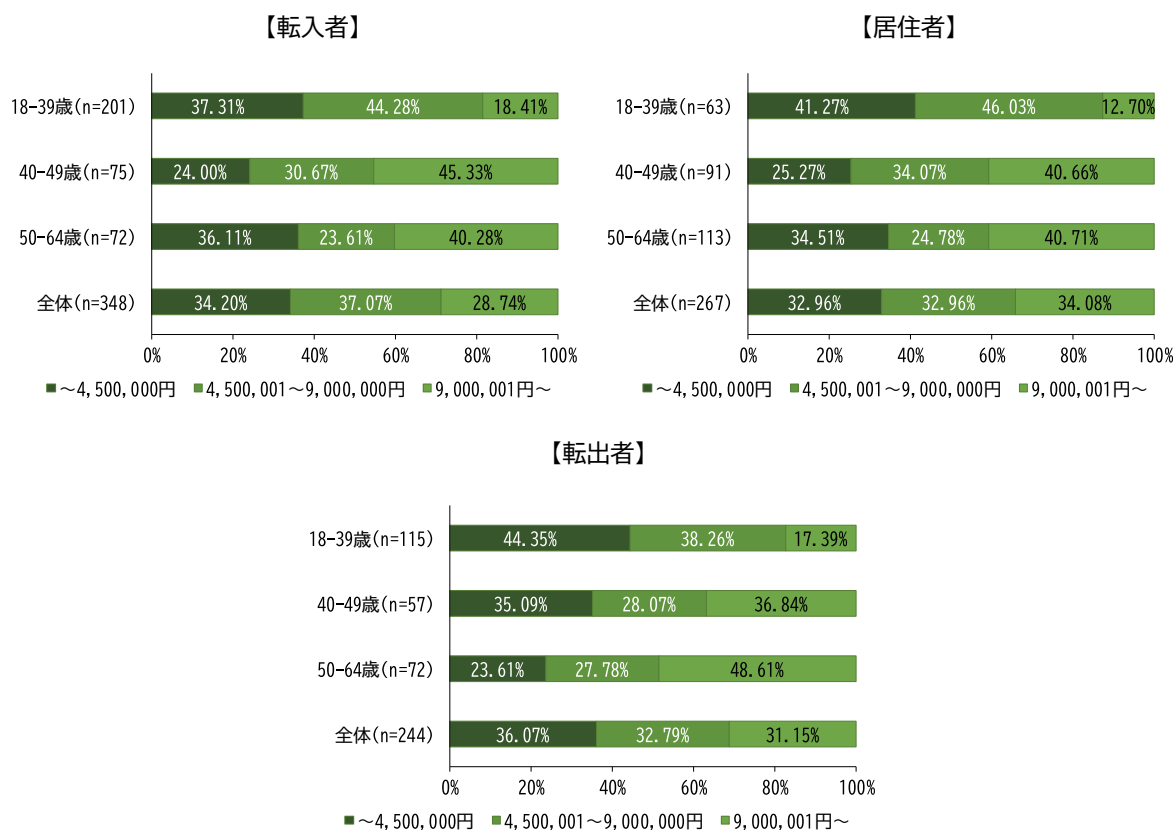
図表 2-69 は、年齢と個人年収のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「9,000,001円～」をみると、「40～49歳」が45.33%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は40.28%、「18～39歳」は18.41%となっている。

居住者について、「9,000,001円～」をみると、「50～64歳」が40.71%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は40.66%、「18～39歳」は12.70%となっている。

転出者について、「9,000,001円～」をみると、「50～64歳」が48.61%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は36.84%、「18～39歳」は17.39%となっている。

図表 2-69 年齢別個人年収

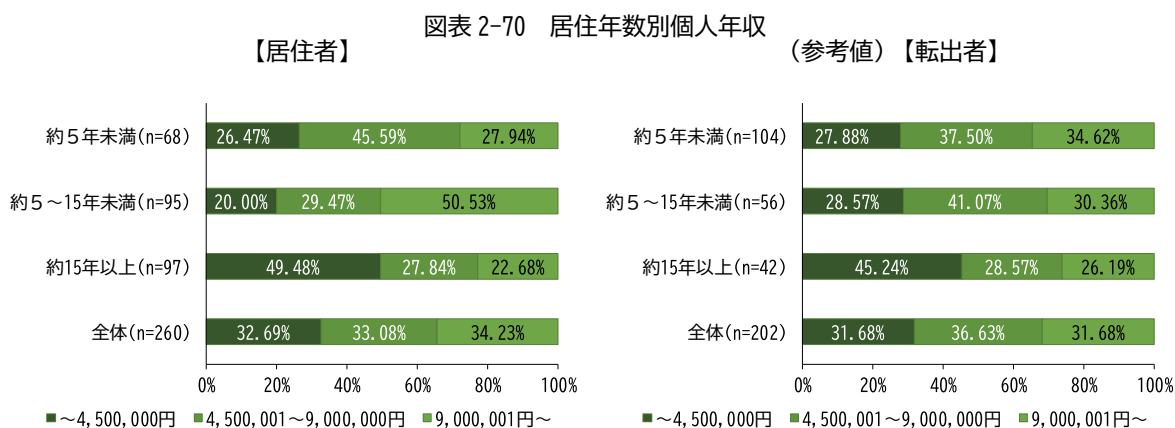


ウ 個人年収－居住年数

居住年数が長い人で、個人年収が「4,500,000 円以下」の人の割合が高い

図表 2-70 は、居住年数と個人年収のクロス集計結果である。居住者のみで有意な差がみられた。居住者について、「～4,500,000 円」をみると、「約 15 年以上」が 49.48%と最大の値を示し、次いで「約 5 年未満」は 26.47%、「約 5～15 年未満」は 20.00%となっている。なお、居住年数は年齢と関連の高い項目であることに留意されたい。

参考値であるが、「9,000,001 円～」をみると、転出者の「約 5～15 年未満」が 30.36%である一方、居住者は 50.53%となっている。



エ 個人年収－世帯類型

いずれの居住属性でも「既婚・18歳未満の子と同居」の人の「9,000,001円以上」の割合が高い

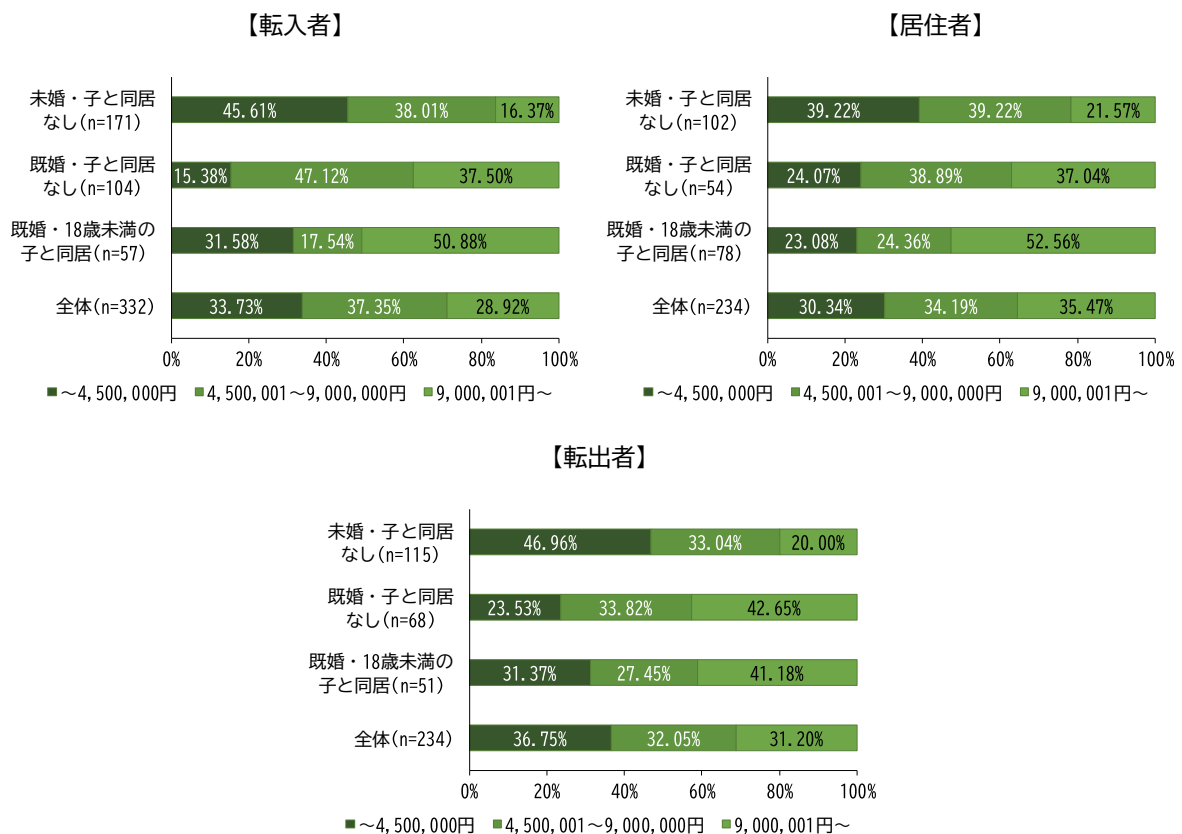
図表2-71は、世帯類型と個人年収のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「9,000,001円～」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が50.88%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は37.50%、「未婚・子と同居なし」は16.37%となっている。

居住者について、「9,000,001円～」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が52.56%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は37.04%、「未婚・子と同居なし」は21.57%となっている。

転出者について、「9,000,001円～」をみると、「既婚・子と同居なし」が42.65%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は41.18%、「未婚・子と同居なし」は20.00%となっている。

図表2-71 世帯類型別個人年収



オ 世帯所得－年齢

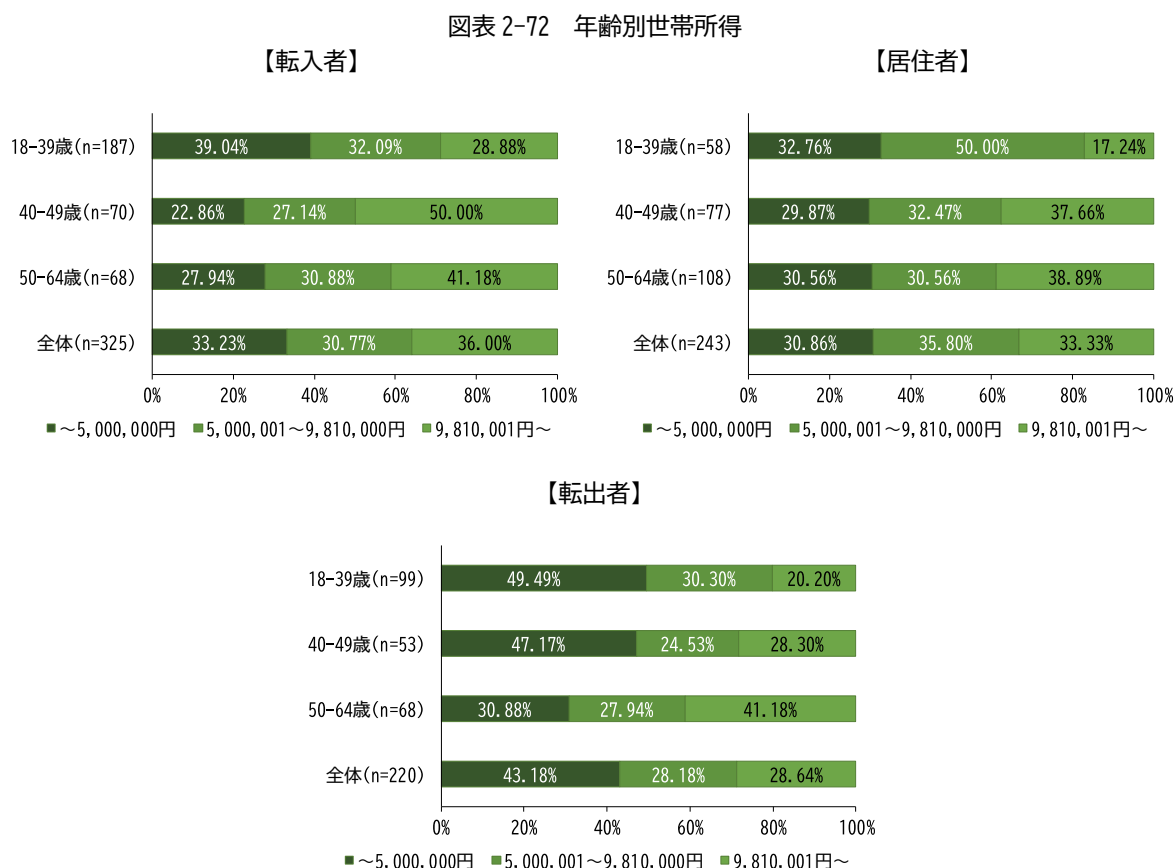
いずれの居住属性でも40歳代以上において「9,810,001円～」の割合が高いが、特に40歳代の転入者の「9,810,001円～」の割合が高い

図表2-72は、年齢と等価所得3分位⁴⁾(以下、「世帯所得」という。)のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「9,810,001円～」をみると、「40～49歳」が50.00%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は41.18%、「18～39歳」は28.88%となっている。

居住者について、「9,810,001円～」をみると、「50～64歳」が38.89%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は37.66%、「18～39歳」は17.24%となっている。

転出者について、「9,810,001円～」をみると、「50～64歳」が41.18%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は28.30%、「18～39歳」は20.20%となっている。



カ 世帯所得－居住年数

居住者と転出者のいずれも、居住年数が長い人で「5,000,000円以下」の割合が高い

図表2-73は、居住年数と世帯所得のクロス集計結果である。居住者、転出者ともに有意な差がみられた。

居住者について、「～5,000,000円」をみると、「約15年以上」が42.35%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は26.14%、「約5年未満」は19.05%となっている。

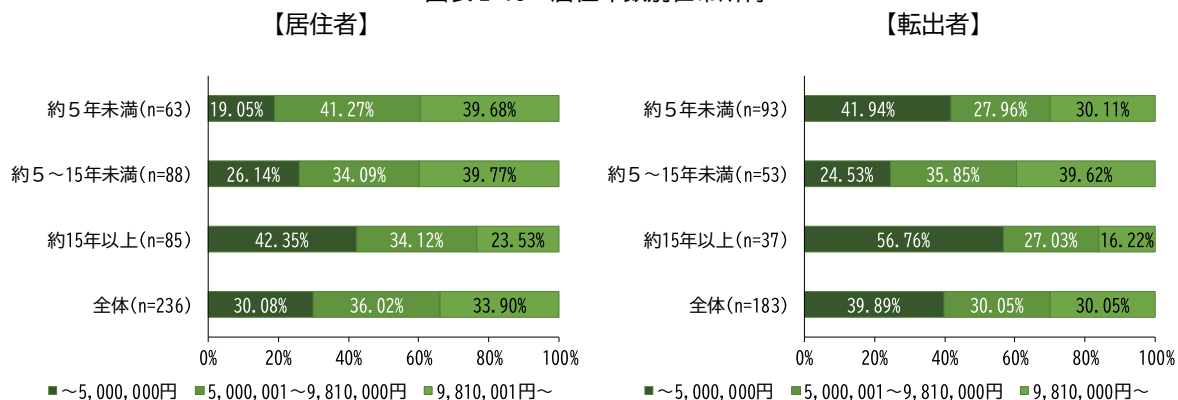
転出者について、「～5,000,000円」をみると、「約15年以上」が56.76%と最大の値を示し、

4 等価所得3分位は、世帯年収÷ $\sqrt{\text{世帯人数}}$ で算出した値を三分位化した変数である。三分位化とは、データを小さい順に並べ、三等分する操作である。ただし、同一値が存在する場合は、等分とならないことがある。

次いで「約5年未満」は41.94%、「約5～15年未満」は24.53%となっている。

なお、居住年数は年齢と関連の高い項目であることに留意されたい。

図表 2-73 居住年数別世帯所得



キ 世帯所得－世帯類型

いずれの居住属性でも、「未婚・子と同居なし」の「5,000,000円以下」の割合が最も高く、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」となっている

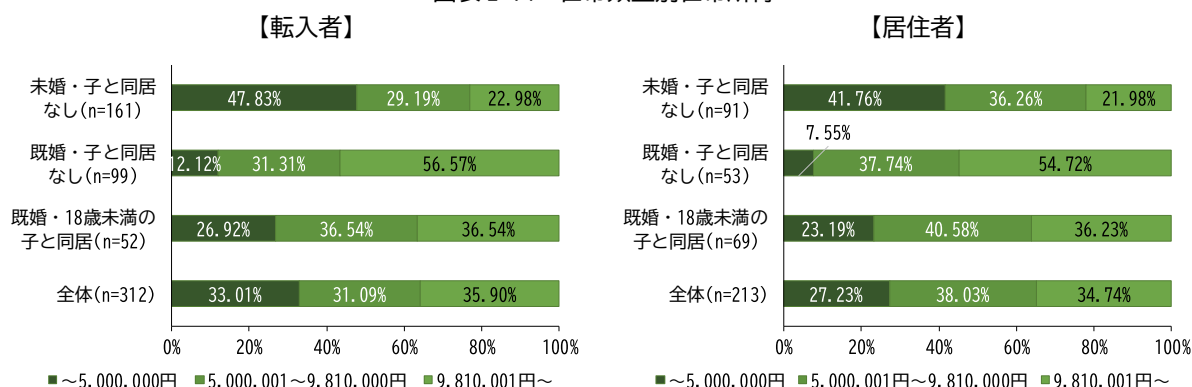
図表 2-74 は、世帯類型と世帯所得のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「～5,000,000円」をみると、「未婚・子と同居なし」が47.83%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は26.92%、「既婚・子と同居なし」は12.12%となっている。

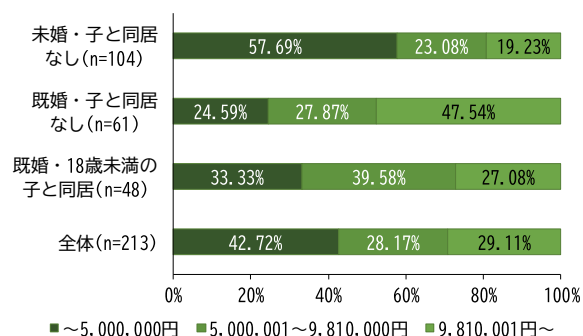
居住者について、「～5,000,000円」をみると、「未婚・子と同居なし」が41.76%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は23.19%、「既婚・子と同居なし」は7.55%となっている。

転出者について、「～5,000,000円」をみると、「未婚・子と同居なし」が57.69%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は33.33%、「既婚・子と同居なし」は24.59%となっている。

図表 2-74 世帯類型別世帯所得



【転出者】



(2) 消費月額

■単純集計

いずれの居住属性でも、個人消費月額は「10～40万円未満」の割合が高く、世帯消費月額は「20～60万円未満」の割合が高い

図表2-75-1は、消費月額の単純集計の結果である。本設問では、「消費支出額には、家賃を含み、自動車、家電製品・家具、住宅（ローン）の購入費、税金、社会保障費は除いてお答えください。」としている。

「(イ) 個人消費月額」について、転入者をみると、「10～20万円未満」が17.50%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「20～30万円未満」は16.50%、「30～40万円未満」は13.50%となっている。

居住者をみると、「20～30万円未満」が16.50%と無回答以外では最大の値を示し、「10～20万円未満」は12.21%、「10万円未満」は10.23%となっている。

転出者をみると、「20～30万円未満」が16.19%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「10～20万円未満」は15.83%、「30～40万円未満」は11.87%となっている。

「(ロ) 世帯消費月額」について、転入者をみると、「30～40万円未満」が14.25%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「20～30万円未満」は13.75%、「50～60万円未満」は10.00%となっている。

居住者をみると、「20～30万円未満」が13.86%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「30～40万円未満」は13.20%、「50～60万円未満」は10.23%となっている。

転出者をみると、「20～30万円未満」が15.11%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「30～40万円未満」は10.43%、「50～60万円未満」は10.07%となっている。

II

III

図表 2-75-1 消費月額 (FA)

(イ) 個人消費月額

(単位 %)

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
10万円未満	4.75	10.23	7.19
10～20万円未満	17.50	12.21	15.83
20～30万円未満	16.50	16.50	16.19
30～40万円未満	13.50	9.90	11.87
40～50万円未満	3.25	5.94	5.04
50～60万円未満	6.00	3.96	5.40
60～70万円未満	2.00	3.63	1.80
70～80万円未満	0.75	1.65	1.08
80～90万円未満	1.00	0.66	0.36
90～100万円未満	0.00	0.66	0.00
100万円以上	3.75	3.30	1.80
無回答	31.00	31.35	33.45

(ロ) 世帯消費月額

(単位 %)

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
10万円未満	0.75	1.32	2.52
10～20万円未満	7.75	3.96	7.91
20～30万円未満	13.75	13.86	15.11
30～40万円未満	14.25	13.20	10.43
40～50万円未満	5.50	8.58	6.83
50～60万円未満	10.00	10.23	10.07
60～70万円未満	5.25	3.63	3.96
70～80万円未満	2.25	4.62	2.88
80～90万円未満	1.50	2.97	1.08
90～100万円未満	0.75	0.33	0.00
100万円以上	6.50	5.61	3.96
無回答	31.75	31.68	35.25

また、令和4年度の世帯消費月額の調査結果は図表2-75-2のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「10～20万円未満」が20.18%と最大の値を示し、次いで「20～30万円未満」は19.64%、「30～40万円未満」は16.91%となっている。

図表 2-75-2 令和4年度の調査結果(世帯消費月額) (FA)

(単位 %)

	令和4年度 (n=550)
10万円未満	14.00
10～20万円未満	20.18
20～30万円未満	19.64
30～40万円未満	16.91
40～50万円未満	6.00
50～60万円未満	5.45
60～70万円未満	2.00
70～80万円未満	0.91
80～90万円未満	0.55
90～100万円未満	0.00
100万円以上	14.36

注：本設問では、「住宅、車、高額家電製品などの耐久消費財の購入額は除きます。公共料金の支払いや光熱費は含みますが、税金・社会保障、住宅ローンの返済額、家賃は除きます。」としており、令和5年度の類似の質問と定義が異なる。また、令和4年度は2021年の1か月当たり平均消費額を尋ねている。

■クロス集計

ア 個人消費月額－性別

いずれの居住属性でも「男性」の方が「300,001円以上」の割合が高い

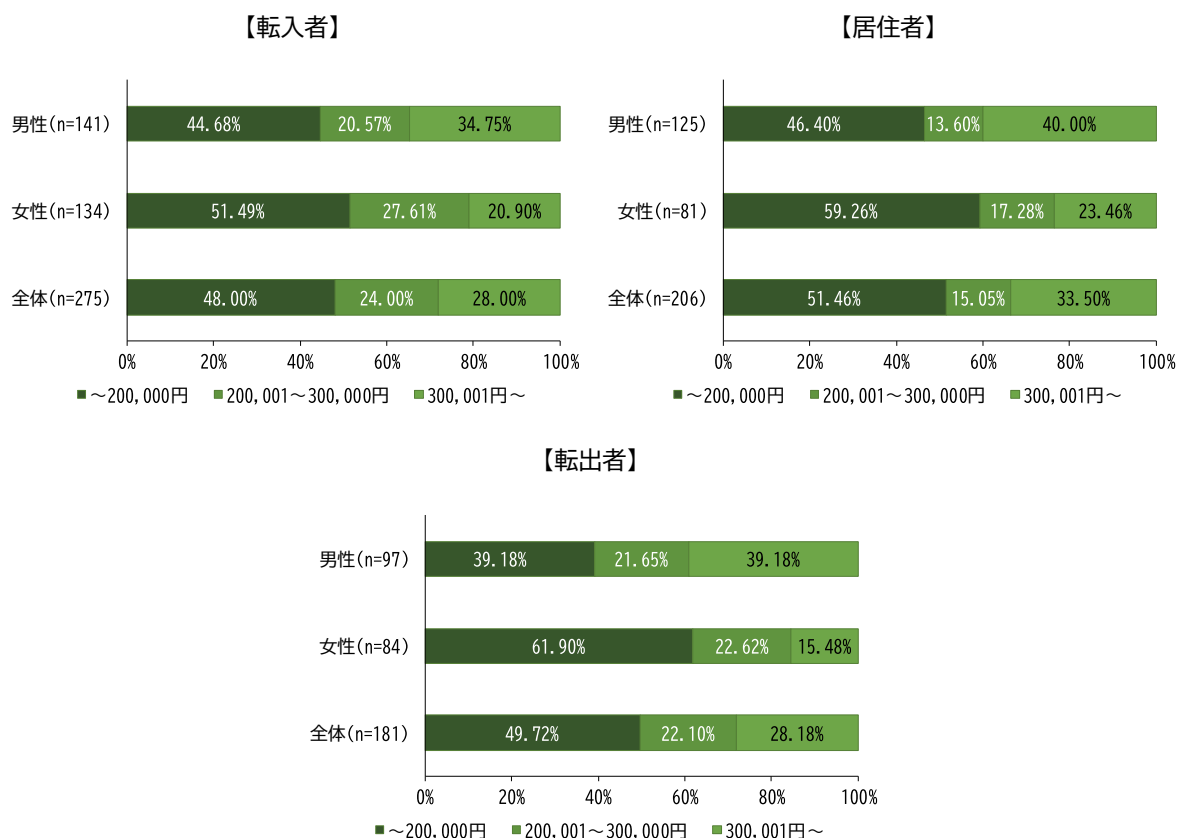
図表2-76は、性別と個人消費月額3分位（以下、「個人消費月額」という。）のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「300,001円～」をみると、「男性」が34.75%、「女性」は20.90%となっている。

居住者について、「300,001円～」をみると、「男性」が40.00%、「女性」は23.46%となっている。

転出者について、「300,001円～」をみると、「男性」が39.18%、「女性」は15.48%となっている。

図表2-76 性別・個人消費月額



イ 個人消費月額－年齢

転入者は「50～64歳」で「300,001円」以上の割合が高く、転出者は「40～49歳」で「300,001円」以上の割合が高い

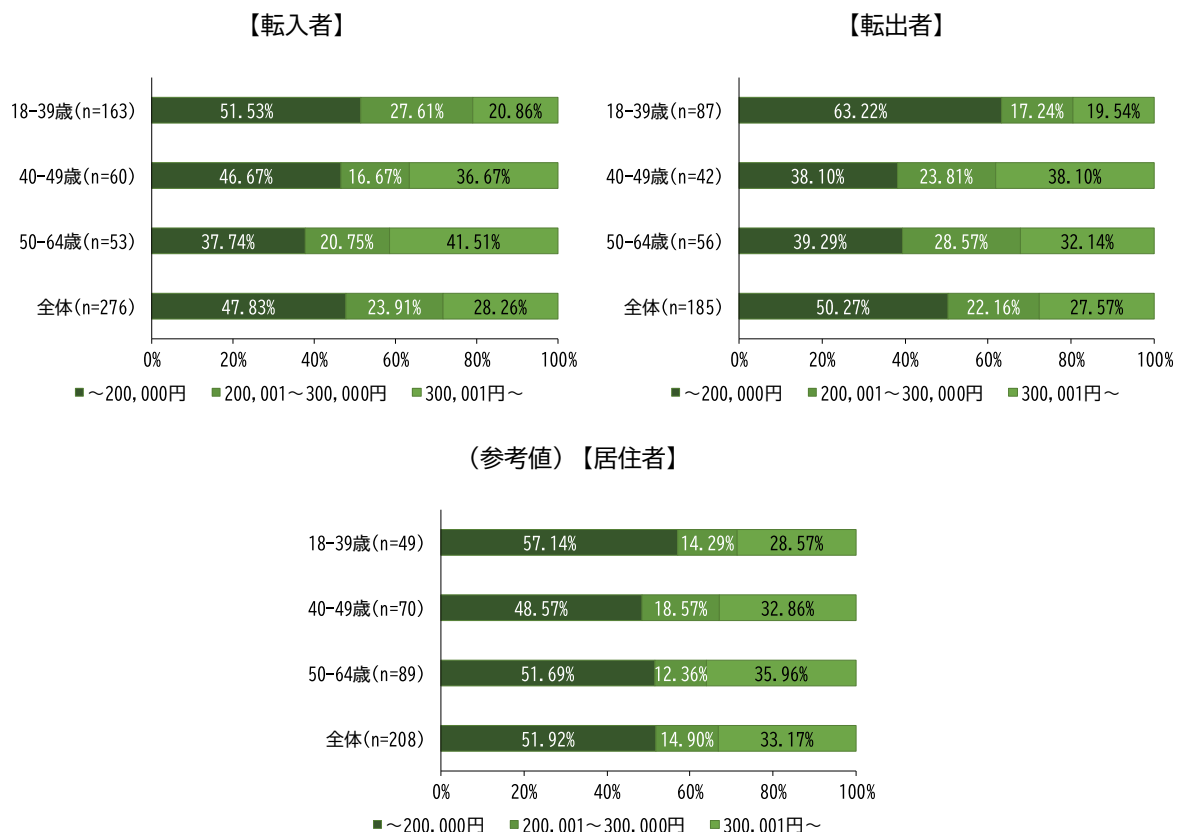
図表2-77は、年齢と個人消費月額のクロス集計結果である。転入者と転出者で有意な差がみられた。

転入者について、「300,001円～」をみると、「50～64歳」が41.51%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は36.67%、「18～39歳」は20.86%となっている。

転出者について、「300,001円～」をみると、「40～49歳」が38.10%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は32.14%、「18～39歳」は19.54%となっている。

参考値であるが、「40～49歳」で「300,001円～」をみると、居住者が32.86%となっており、転入者の36.67%、転出者の38.10%と比較してやや低い割合となっている。

図表 2-77 年齢別個人消費月額



ウ 世帯消費月額－年齢

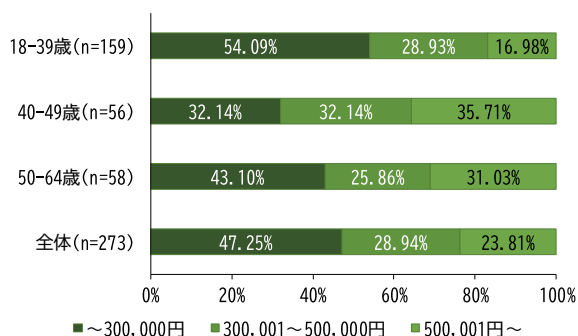
- ・転入者のみで有意な差がみられた
- ・転入者は、「18～39歳」の世帯消費が少ない割合が高い
- ・「40～49歳」をみると、転出者の世帯消費が少ない割合が高い

図表 2-78 は、年齢と世帯消費月額 3 分位⁵⁾（以下、「世帯消費月額」という。）のクロス集計結果である。転入者のみで有意な差がみられた。

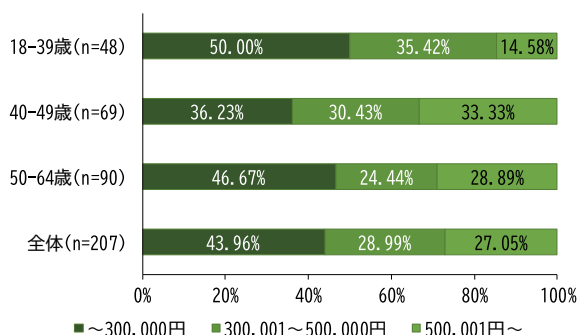
転入者について、「500,001円～」をみると、「40～49歳」が35.71%と最大の値を示し、次いで「50～64歳」は31.03%、「18～39歳」は16.98%となっている。

参考値であるが、居住者と転出者をみると、転入者と居住者はおおむね同傾向となっている。また、「40～49歳」の「500,001円～」をみると、転出者は19.05%、転入者は35.71%、居住者は33.33%となっており、転出者と転入者・居住者の差が大きい。

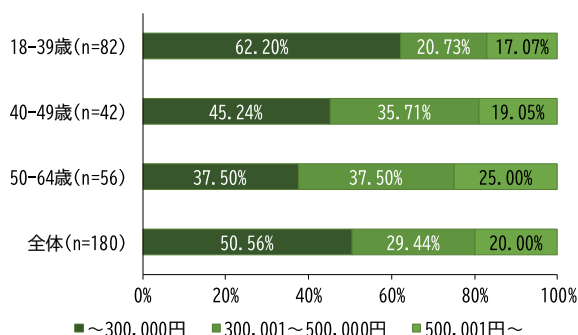
5 103 ページで記載した等価所得 3 分位（世帯所得）とは異なり、世帯消費月額は、世帯消費月額を三分位化した変数である。

図表 2-78 年齢別世帯消費月額
【転入者】

(参考値) 【居住者】



(参考値) 【転出者】



エ 世帯消費月額－世帯類型

- ・転入者と転出者は「既婚・18歳未満の子と同居」で「500,001円以上」の割合が高い一方、居住者は「既婚・子と同居なし」の割合が高い
- ・「既婚・子と同居なし」は、居住者、転入者、転出者の順で世帯消費月額が高い人の割合が高い

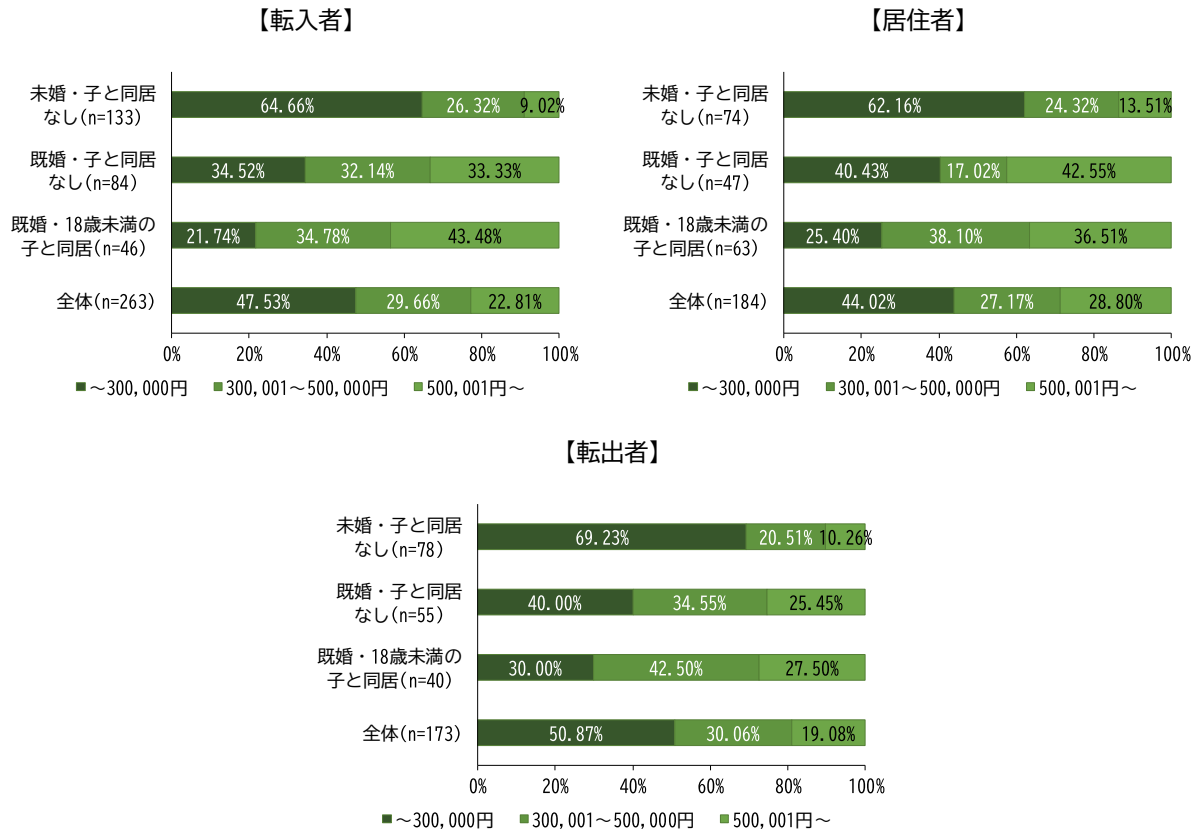
図表 2-79 は、世帯類型と世帯消費月額のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「500,001円～」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が43.48%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は33.33%、「未婚・子と同居なし」は9.02%となっている。

居住者について、「500,001円～」をみると、「既婚・子と同居なし」が42.55%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は36.51%、「未婚・子と同居なし」は13.51%となっている。

転出者について、「500,001円～」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が27.50%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は25.45%、「未婚・子と同居なし」は10.26%となっている。

図表 2-79 世帯類型別世帯消費月額



(3) 住宅保有形態

■単純集計

- ・居住者の半数は持ち家で、令和2～4年度も同程度
- ・賃貸住宅の中では、いずれの居住属性でも「賃貸住宅（家賃が10～20万円未満）」の割合が高い

図表 2-80-1 は、住宅保有形態の単純集計の結果である。

転入者をみると、「賃貸住宅（家賃が10～20万円未満）」が34.25%と最大の値を示し、次いで「持ち家（住宅ローンが残っている場合を含む）」は23.25%、「賃貸住宅（家賃が20～30万円未満）」は11.75%となっている。

居住者をみると、「持ち家（住宅ローンが残っている場合を含む）」が50.50%と最大の値を示し、次いで「賃貸住宅（家賃が10～20万円未満）」は17.49%、「賃貸住宅（家賃が20～30万円未満）」は9.57%となっている。

転出者をみると、「持ち家（住宅ローンが残っている場合を含む）」が34.53%と最大の値を示し、次いで「賃貸住宅（家賃が10～20万円未満）」は24.82%、「賃貸住宅（家賃が10万円未満）」は21.22%となっている。

図表 2-80-1 住宅保有形態 (SA)

(単位 %)

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
持ち家(住宅ローンが残っている場合を含む)	23.25	50.50	34.53
賃貸住宅(家賃が10万円未満)	11.25	6.93	21.22
賃貸住宅(家賃が10～20万円未満)	34.25	17.49	24.82
賃貸住宅(家賃が20～30万円未満)	11.75	9.57	5.76
賃貸住宅(家賃が30万円以上)	10.25	7.92	2.88
社宅、寮	7.25	5.61	6.83
その他	0.50	0.66	2.88
無回答	1.50	1.32	1.08

また、令和2～4年度の住宅保有形態の調査結果は図表2-80-2のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「持家(一戸建)」と「持家(マンション)」の合計をみると、令和2年度が52.17%(9.26+42.91)、令和3年度は49.04%(10.51+38.54)、令和4年度は46.00%(8.00+38.00)となっており、令和5年度の居住者と同様に、持ち家の割合は半数程度となっている。

図表 2-80-2 令和2～4年度の調査結果(住宅保有形態)(SA)

(単位 %)

	令和2年度 (n=529)	令和3年度 (n=628)	令和4年度 (n=550)
持家(一戸建)	9.26	10.51	8.00
持家(マンション)	42.91	38.54	38.00
借家(一戸建)	1.70	0.64	0.55
民間の賃貸マンション・アパート	38.00	41.88	43.27
都営住宅・区営住宅・区立住宅・特定公共賃貸住宅	3.78	2.07	4.73
UR(旧公団)・公社の賃貸住宅	1.13	1.27	1.82
社宅・公務員宿舎	2.08	2.23	2.18
寮・寄宿舎・住み込み・間借り	0.57	1.75	0.91
その他	0.57	1.11	0.55

■クロス集計

ア 年齢

いずれの居住属性でも、年齢が低いほど「賃貸住宅」の割合が高い

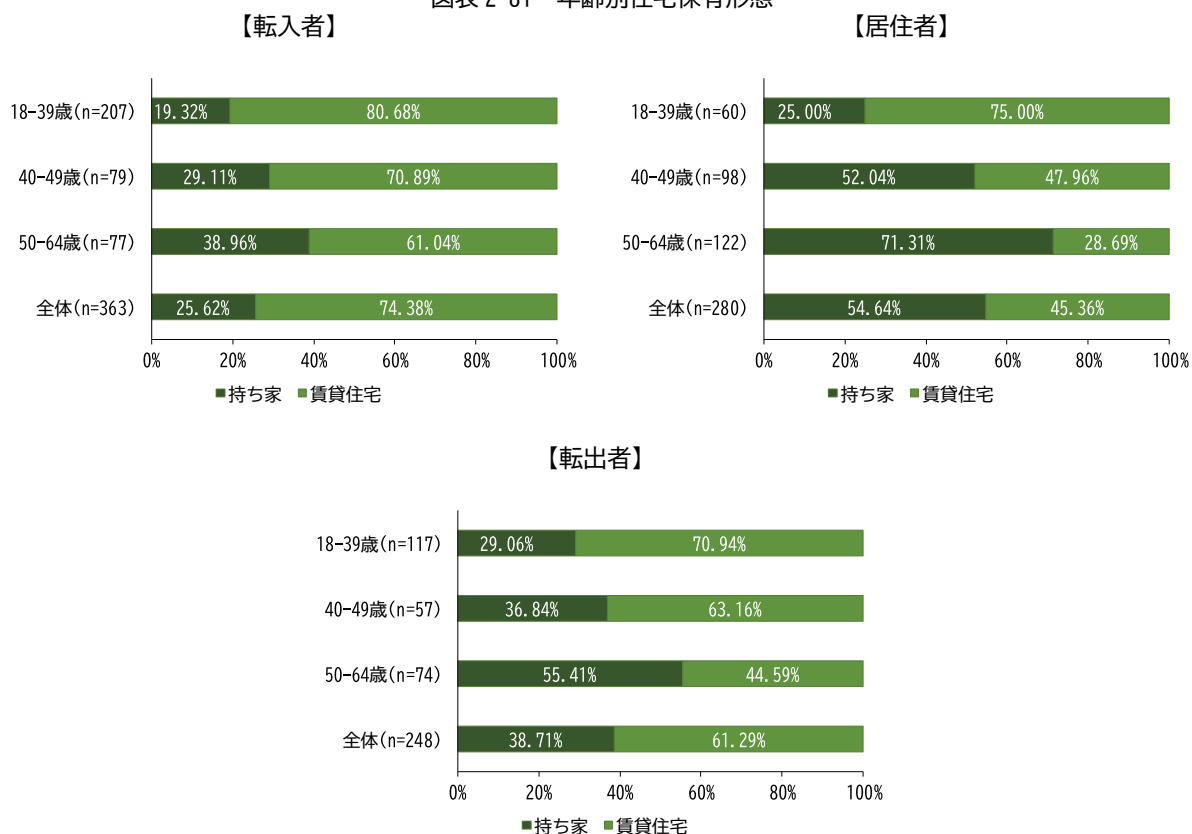
図表2-81は、年齢と住宅保有形態のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられ、いずれの居住属性もおおむね同傾向となっている。

転入者について、「賃貸住宅」をみると、「18～39歳」が80.68%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は70.89%、「50～64歳」は61.04%となっている。

居住者について、「賃貸住宅」をみると、「18～39歳」が75.00%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は47.96%、「50～64歳」は28.69%となっている。

転出者について、「賃貸住宅」をみると、「18～39歳」が70.94%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は63.16%、「50～64歳」は44.59%となっている。

図表 2-81 年齢別住宅保有形態



イ 居住地区

転入者も居住者も、「芝地区」の「賃貸住宅」の割合が高い

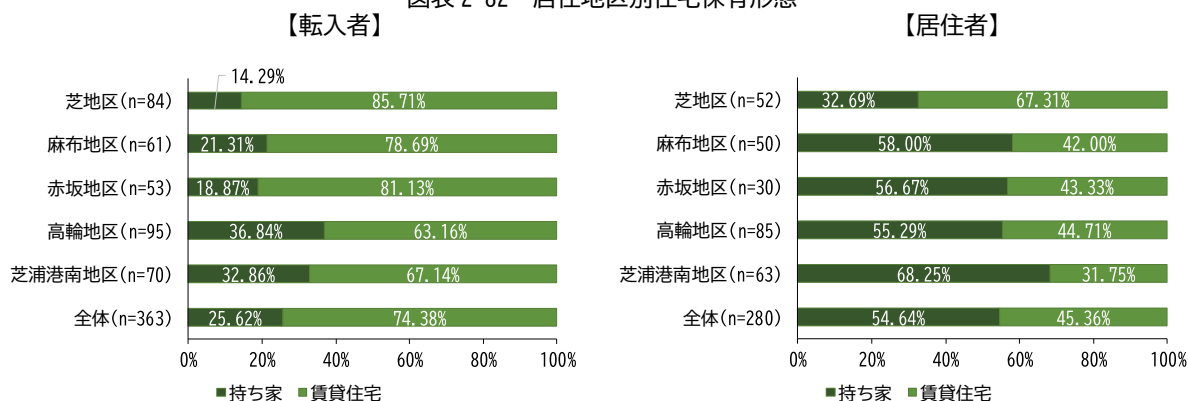
図表 2-82 は、居住地区と住宅保有形態のクロス集計結果である。転入者と居住者で有意な差がみられた。

転入者について、「賃貸住宅」をみると、「芝地区」が 85.71%と最大の値を示し、次いで「赤坂地区」は 81.13%、「麻布地区」は 78.69%となっている。

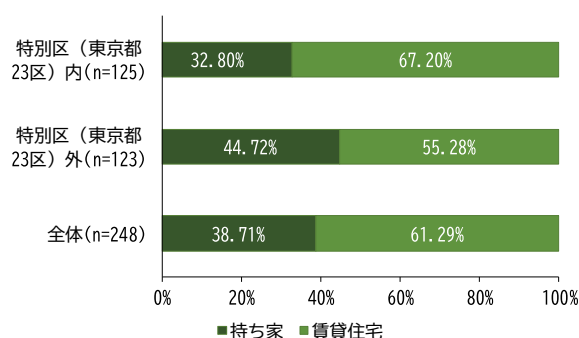
居住者について、「賃貸住宅」をみると、「芝地区」が 67.31%と最大の値を示し、次いで「高輪地区」は 44.71%、「赤坂地区」は 43.33%となっている。

参考値であるが、転出者の「賃貸住宅」の割合をみると、「特別区（東京都 23 区）内」は 67.20%、「特別区（東京都 23 区）外」は 55.28%となっている。

図表 2-82 居住地区別住宅保有形態



(参考値)【転出者】



ウ 居住年数

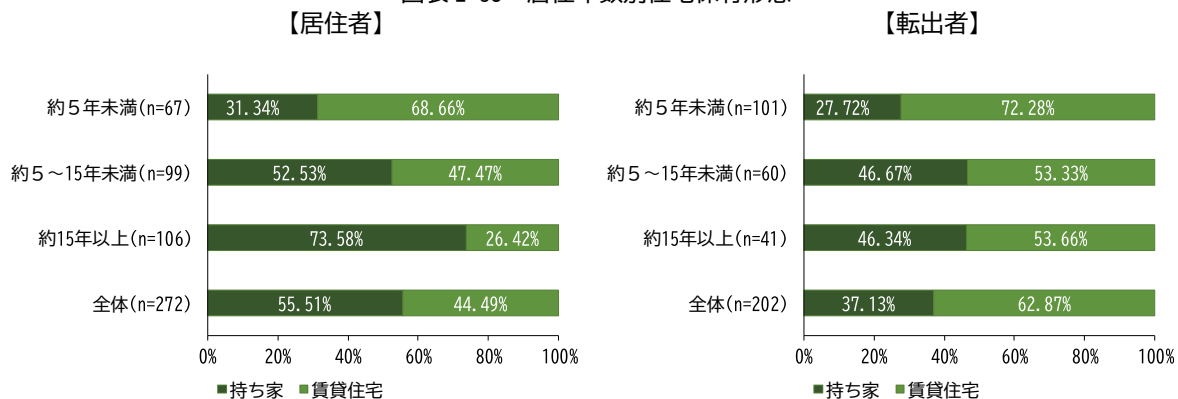
居住者も転出者も、居住年数が短い人の「賃貸住宅」の割合が高い

図表 2-83 は、居住年数と住宅保有形態のクロス集計結果である。いずれの居住属性でも有意な差がみられた。

居住者について、「賃貸住宅」をみると、「約5年未満」が68.66%と最大の値を示し、次いで「約5～15年未満」は47.47%、「約15年以上」は26.42%となっている。

転出者について、「賃貸住宅」をみると、「約5年未満」が72.28%と最大の値を示し、次いで「約15年以上」は53.66%、「約5～15年未満」は53.33%となっている。

図表 2-83 居住年数別住宅保有形態



エ 世帯類型

- ・ いずれの居住属性でも、「未婚・子と同居なし」の「持ち家」の割合が最も低い
- ・ 転入者は、「既婚・18歳未満の子と同居」で「持ち家」の割合が最も高い

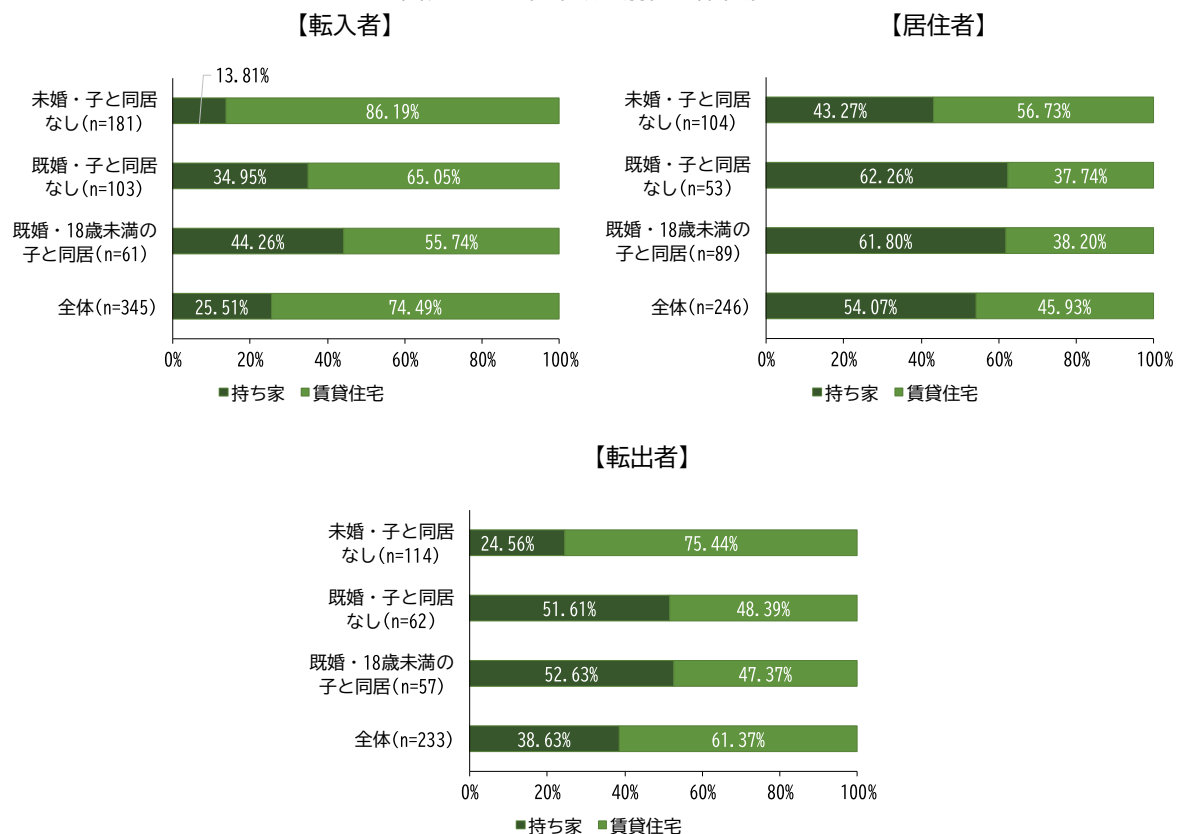
図表2-84は、世帯類型と住宅保有形態のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられ、いずれの居住属性もおおむね同傾向となっている。

転入者について、「持ち家」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が44.26%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は34.95%、「未婚・子と同居なし」は13.81%となっている。

居住者について、「持ち家」をみると、「既婚・子と同居なし」が62.26%と最大の値を示し、次いで「既婚・18歳未満の子と同居」は61.80%、「未婚・子と同居なし」は43.27%となっている。

転出者について、「持ち家」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が52.63%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は51.61%、「未婚・子と同居なし」は24.56%となっている。

図表2-84 世帯類型別住宅保有形態



(4) 今後の家計の見込み

■単純集計

- ・ いずれの居住属性でも、「変わらない」と回答した割合が最も高い
- ・ 転入者は、居住者・転出者と比較して、「向上する」又は「やや向上する」と回答した割合が高い

図表2-85-1は、今後の家計の見込みの単純集計の結果である。

転入者をみると、「変わらない」が32.25%と最大の値を示し、次いで「やや向上する」は26.50%、「向上する」は21.50%となっている。

居住者をみると、「変わらない」が40.26%と最大の値を示し、次いで「やや悪化する」は19.47%、「やや向上する」は14.85%となっている。

転出者をみると、「変わらない」が38.13%と最大の値を示し、次いで「向上する」と「やや悪化する」は18.71%となっている。

図表 2-85-1 今後の家計の見込み (SA)

(単位 %)

	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
向上する	21.50	12.54	18.71
やや向上する	26.50	14.85	16.91
変わらない	32.25	40.26	38.13
やや悪化する	13.50	19.47	18.71
悪化する	5.00	10.56	6.12
無回答	1.25	2.31	1.44

また、令和4年度の家計の見込みの調査結果は図表 2-85-2 のとおりである。本設問では、調査実施時点とコロナ禍収束後（2023年4月以降を想定）での、世帯の収入と物価の見込みを尋ねたものである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「(イ) 世帯の収入」は令和5年度の居住者と同様に、「変わらない」の割合が最も高い一方、「(ロ) 物価」は「上がる」「とても上がる」「上がる」「やや上がる」の合計は74.00%（15.64+34.36+24.00）となっている。

図表 2-85-2 令和4年度の調査結果（家計の見込み）(SA)

(イ) 世帯の収入 (単位 %)		(ロ) 物価 (単位 %)	
	令和4年度 (n=550)		令和4年度 (n=550)
とても増える	1.27	とても上がる	15.64
増える	6.00	上がる	34.36
やや増える	12.91	やや上がる	24.00
変わらない	62.36	変わらない	22.73
やや減る	8.36	やや下がる	1.45
減る	6.55	下がる	1.64
とても減る	2.55	とても下がる	0.18

■クロス集計

ア 年齢

いずれの居住属性でも、年齢が高いほど今後家計が「悪化する」とした割合が高い

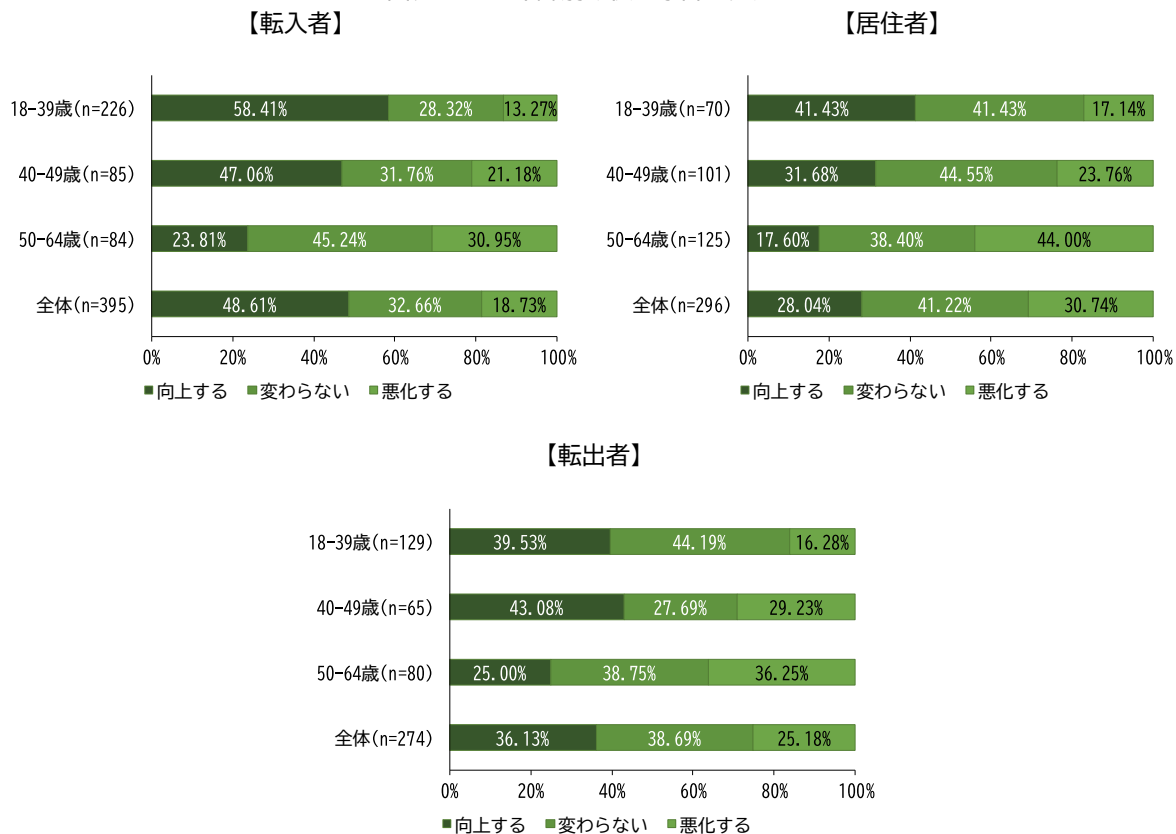
図表 2-86 は、年齢と今後の家計の見込みのクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられ、いずれの居住属性もおおむね同傾向となっている。

転入者について、「悪化する」をみると、「50～64歳」が30.95%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は21.18%、「18～39歳」は13.27%となっている。

居住者について、「悪化する」をみると、「50～64歳」が44.00%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は23.76%、「18～39歳」は17.14%となっている。

転出者について、「悪化する」をみると、「50～64歳」が36.25%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は29.23%、「18～39歳」は16.28%となっている。

図表 2-86 年齢別今後の家計の見込み



注：「向上する」には「向上する」と「やや向上する」を含み、「悪化する」には「悪化する」と「やや悪化する」を含む。

イ 居住年数

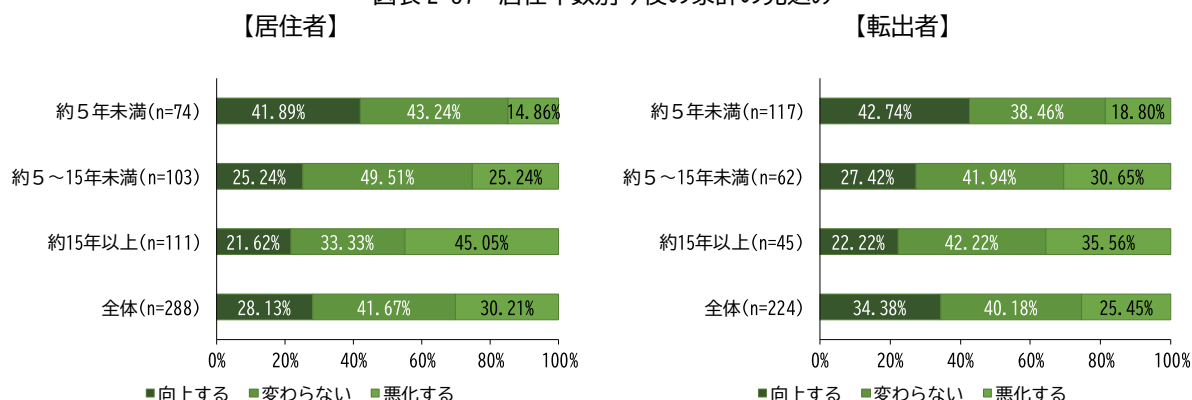
居住者も転出者も、居住年数が長いほど今後家計が「悪化する」とした割合が高い

図表 2-87 は、居住年数と今後の家計の見込みのクロス集計結果である。いずれの居住属性でも有意な差がみられた。

居住者について、「悪化する」をみると、「約 15 年以上」が 45.05%と最大の値を示し、次いで「約 5～15 年未満」は 25.24%、「約 5 年未満」は 14.86%となっている。

転出者について、「悪化する」をみると、「約 15 年以上」が 35.56%と最大の値を示し、次いで「約 5～15 年未満」は 30.65%、「約 5 年未満」は 18.80%となっている。

図表 2-87 居住年数別今後の家計の見込み



ウ 世帯類型

- ・転入者も転出者も、「既婚・18歳未満の子と同居」の人で、今後家計が「悪化する」とした割合が高い
- ・「既婚・18歳未満の子と同居」の居住者の「悪化する」と回答した割合は、他の居住属性と比較すると、1割程度低い

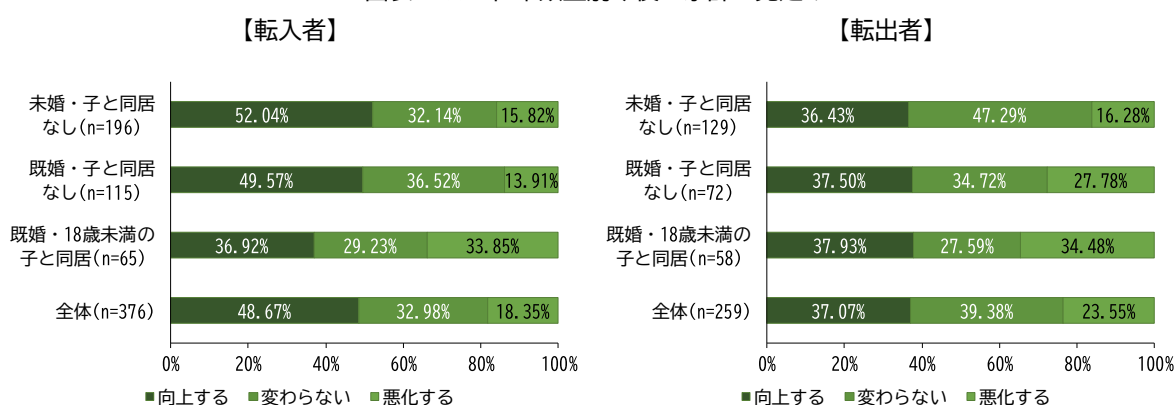
図表 2-88 は、世帯類型と今後の家計の見込みのクロス集計結果である。転入者と転出者で有意な差がみられた。

転入者について、「悪化する」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が33.85%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は15.82%、「既婚・子と同居なし」は13.91%となっている。

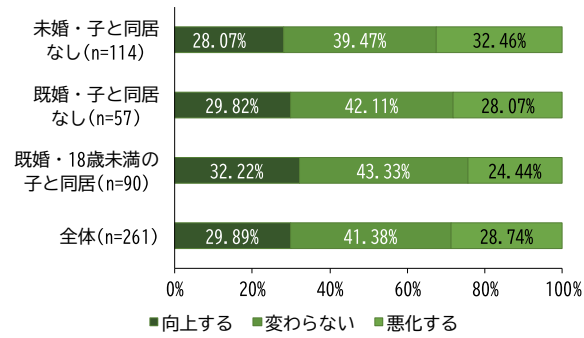
転出者について、「悪化する」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が34.48%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は27.78%、「未婚・子と同居なし」は16.28%となっている。

参考値であるが、「既婚・18歳未満の子と同居」の居住者の「悪化する」が24.44%となっており、他の居住属性と比較すると、10%程度低くなっている。

図表 2-88 世帯類型別今後の家計の見込み



(参考値) 【居住者】



6 生活環境への満足度

■単純集計

- ・「生活全般」の満足度は、いずれの居住属性も同傾向となっている
- ・「子育てのしやすさ（就学前）」「教育環境（小・中学校）」は、転出者が転出先について「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した割合が低い一方、港区居住者の同回答割合は5割以上と高い
- ・「日常的な買い物の環境」は転出者が転出先について「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した割合が6割以上と高く、転入者と居住者は同値が半数程度と、転出者と比較して低い
- ・「まちのイメージ・ブランド力」は、転出者が転出先について「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した割合が6割程度である一方、転入者と居住者が8割以上と非常に高い

図表2-89は、各種満足度の単純集計の結果である。本設問は、各項目に対する現在の満足度を尋ねているため、転出者については転出先での満足度を回答していることに留意されたい。

「(イ) 生活全般」について、転入者をみると、「どちらかといえば満足」が44.00%と最大の値を示し、次いで「満足」は38.00%、「どちらともいえない」は10.25%となっている。

居住者をみると、「どちらかといえば満足」が49.50%と最大の値を示し、次いで「満足」は36.96%、「どちらともいえない」は9.57%となっている。

転出者をみると、「どちらかといえば満足」が44.60%と最大の値を示し、次いで「満足」は34.53%、「どちらともいえない」は11.87%となっている。

「(ロ) 子育てのしやすさ（就学前）」について、転入者をみると、「どちらかといえば満足」が26.98%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「満足」は20.63%、「どちらともいえない」は19.84%となっている。

居住者をみると、「満足」が30.26%と最大の値を示し、次いで「どちらかといえば満足」は28.29%、「どちらともいえない」は19.08%となっている。

転出者をみると、「どちらともいえない」が29.66%と最大の値を示し、次いで無回答以外では「どちらかといえば満足」は22.88%、「満足」は16.10%となっている。

「(ハ) 教育環境（小・中学校）」について、転入者をみると、「どちらかといえば満足」が22.22%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「満足」は21.37%、「どちらともいえない」は20.51%となっている。

居住者をみると、「満足」が26.21%と最大の値を示し、次いで無回答以外では「どちらかといえば満足」は24.14%、「どちらともいえない」は22.76%となっている。

転出者をみると、「どちらともいえない」が32.73%と最大の値を示し、次いで無回答以外では「どちらかといえば満足」は22.73%、「満足」は10.91%となっている。

「(ニ) 日常的な買い物の環境」について、転入者をみると、「どちらかといえば満足」が33.25%と最大の値を示し、次いで「どちらかといえば不満」は23.25%、「どちらともいえない」は16.75%となっている。

居住者をみると、「どちらかといえば満足」が32.34%と最大の値を示し、次いで「どちらともいえない」は20.13%、「満足」は18.81%となっている。

転出者をみると、「どちらかといえば満足」が33.09%と最大の値を示し、次いで「満足」は32.01%、「どちらともいえない」は16.91%となっている。

「(ホ) まちのイメージ、ブランド力」について、転入者をみると、「満足」が53.75%と最大の値を示し、次いで「どちらかといえば満足」は30.50%、「どちらともいえない」は11.75%となっている。

居住者をみると、「満足」が50.17%と最大の値を示し、次いで「どちらかといえば満足」は35.31%、「どちらともいえない」は7.59%となっている。

転出者をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」が29.14%と最大の値を示し、次いで「どちらともいえない」は23.74%となっている。

図表 2-89 各種満足度 (SA)

(イ) 生活全般 (単位 %)			
	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
不満	1.75	0.66	0.72
どちらかといえば不満	2.50	1.32	4.68
どちらともいえない	10.25	9.57	11.87
どちらかといえば満足	44.00	49.50	44.60
満足	38.00	36.96	34.53
無回答	3.50	1.98	3.60

(ロ) 子育てのしやすさ (就学前) (単位 %)			
	転入者(n=126)	居住者(n=152)	転出者(n=118)
不満	1.59	0.00	0.00
どちらかといえば不満	3.17	3.29	4.24
どちらともいえない	19.84	19.08	29.66
どちらかといえば満足	26.98	28.29	22.88
満足	20.63	30.26	16.10
無回答	27.78	19.08	27.12

(ハ) 教育環境 (小・中学校) (単位 %)			
	転入者(n=117)	居住者(n=145)	転出者(n=110)
不満	1.71	0.69	0.00
どちらかといえば不満	2.56	2.76	2.73
どちらともいえない	20.51	22.76	32.73
どちらかといえば満足	22.22	24.14	22.73
満足	21.37	26.21	10.91
無回答	31.62	23.45	30.91

(ニ) 日常的な買い物の環境 (単位 %)			
	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
不満	9.00	6.27	1.44
どちらかといえば不満	23.25	17.16	9.35
どちらともいえない	16.75	20.13	16.91
どちらかといえば満足	33.25	32.34	33.09
満足	13.75	18.81	32.01
無回答	4.00	5.28	7.19

(ホ) まちのイメージ、ブランド力 (単位 %)			
	転入者(n=400)	居住者(n=303)	転出者(n=278)
不満	0.50	0.66	2.52
どちらかといえば不満	1.00	2.97	9.35
どちらともいえない	11.75	7.59	23.74
どちらかといえば満足	30.50	35.31	29.14
満足	53.75	50.17	29.14
無回答	2.50	3.30	6.12

注：(ロ) (ハ) は当該設問において「子どもはいない」と回答した人を非該当としている。

■クロス集計

ア 生活全般の満足度－居住地区

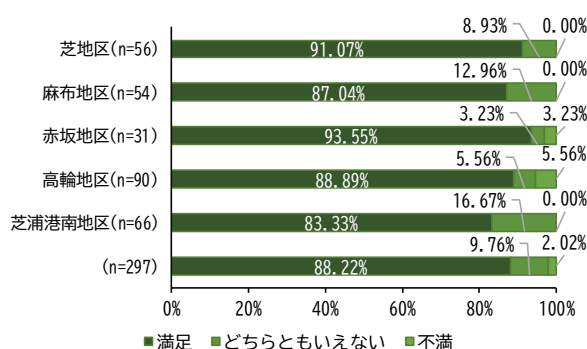
- ・居住者のみで有意な差がみられた
- ・「赤坂地区」「芝地区」「高輪地区」「麻布地区」「芝浦港南地区」の順で、居住者の満足度が高い

図表 2-90 は、居住地区と生活全般の満足度のクロス集計結果である。居住者のみで有意な差がみられた。

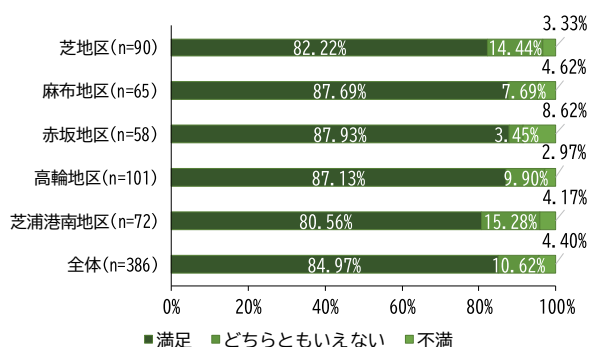
居住者について、「満足」をみると、「赤坂地区」が 93.55%と最大の値を示し、次いで「芝地区」は 91.07%、「高輪地区」は 88.89%、「麻布地区」は 87.04%、「芝浦港南地区」は 83.33%となっている。

参考値であるが、転入者の「満足」の割合はいずれの地区でも 8～9 割程度となっており、転出者の「満足」の割合はいずれの地区でも 8 割程度となっている。

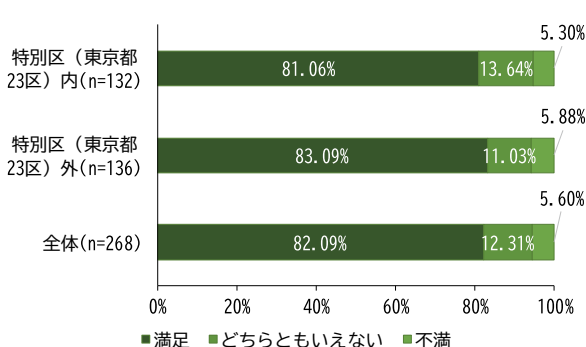
図表 2-90 居住地区別生活全般の満足度
【居住者】



(参考値) 【転入者】



(参考値) 【転出者】



注：「満足」には「満足」と「どちらかといえば満足」を含み、「不満」は「不満」と「どちらかといえば不満」を含む。以下、同様。

イ 子育てのしやすさ（就学前）の満足度－年齢

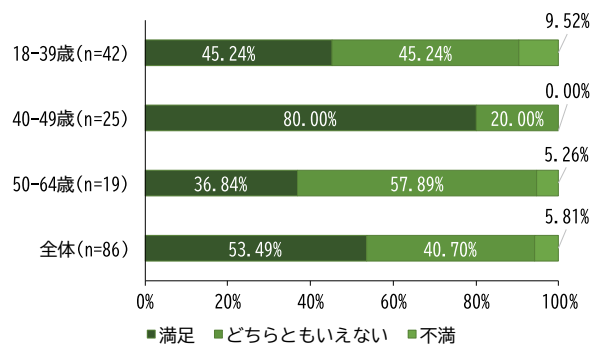
- ・「40～49歳」の転出者の満足度が高い
- ・他の居住属性と比較して、「18～39歳」の転出者の満足度が低い

図表2-91は、年齢と子育てのしやすさ（就学前）の満足度のクロス集計結果である。転出者のみで有意な差がみられた。

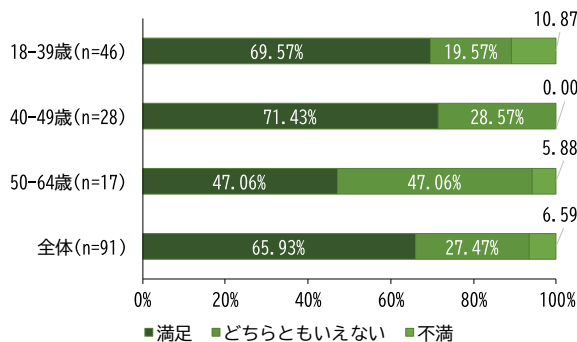
転出者について、「満足」をみると、「40～49歳」が80.00%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は45.24%、「50～64歳」は36.84%となっている。

参考値であるが、「18～39歳」の「満足」の割合をみると、転入者が69.57%、居住者は77.27%、転出者は45.24%となっており、転出者の「満足」の割合が低い。

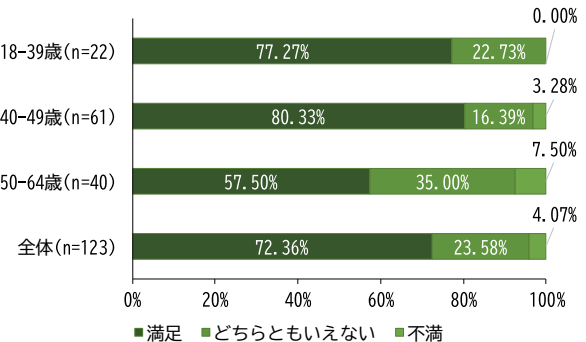
図表2-91 年齢別子育てのしやすさ（就学前）の満足度
【転出者】



(参考値) 【転入者】



(参考値) 【居住者】



注：本設問は、子どもがいない場合「子どもはいない」を選択してもらうことを想定しており、子どもの同居の有無は問わない設問となっている。また、子どもはいるが対象年齢の子どもがいない場合でも、そもそも子どもがいない場合でも、「子どもはいない」を選択することが想定される。回答者数が少ないのは、上述の設定により、回答者に混乱をもたらしたことが要因の一つと考えられる。以下、同様。

ウ 子育てのしやすさ（就学前）の満足度－居住地区

- ・「高輪地区」「芝浦港南地区」「麻布地区」「芝地区」「赤坂地区」の順で、居住者の満足度が高い
- ・「芝地区」の転入者は居住者と比較して、満足度が極端に低い

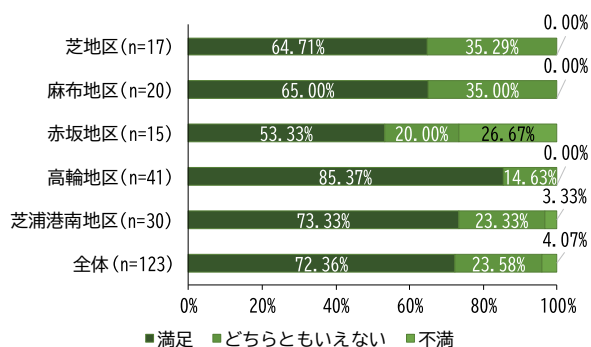
図表2-92は、居住地区と子育てのしやすさ（就学前）の満足度のクロス集計結果である。居住者のみで有意な差がみられた。

居住者について、「満足」をみると、「高輪地区」が85.37%と最大の値を示し、次いで「芝浦港南地区」は73.33%、「麻布地区」は65.00%、「芝地区」は64.71%、「赤坂地区」は53.33%となっ

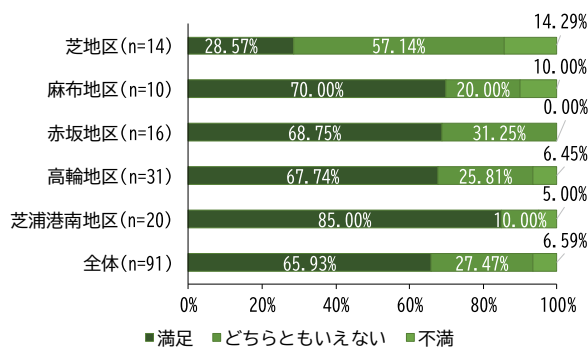
ている。

参考値であるが、「芝地区」の転入者をみると、「満足」が28.57%となっており、居住者と大きな乖離がある。

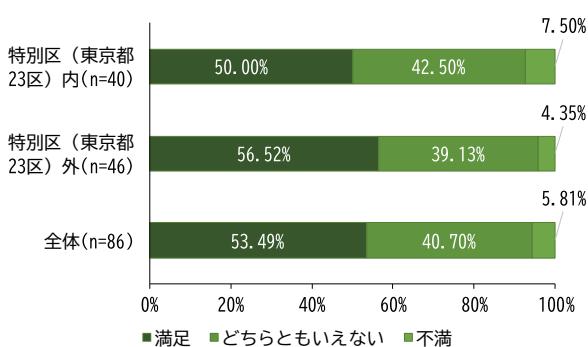
図表 2-92 居住地区別子育てのしやすさ（就学前）の満足度
【居住者】



(参考値) 【転入者】



(参考値) 【転出者】



エ 子育てのしやすさ（就学前）の満足度－居住年数

- ・転出者では、「約5～15年未満」の人の満足度が最も高い
- ・「約5年未満」の居住者の満足度と「約15年以上」の居住者の満足度は、転出者と比較して非常に高い

図表 2-93 は、居住年数と子育てのしやすさ（就学前）の満足度のクロス集計結果である。転出者のみで有意な差がみられた。

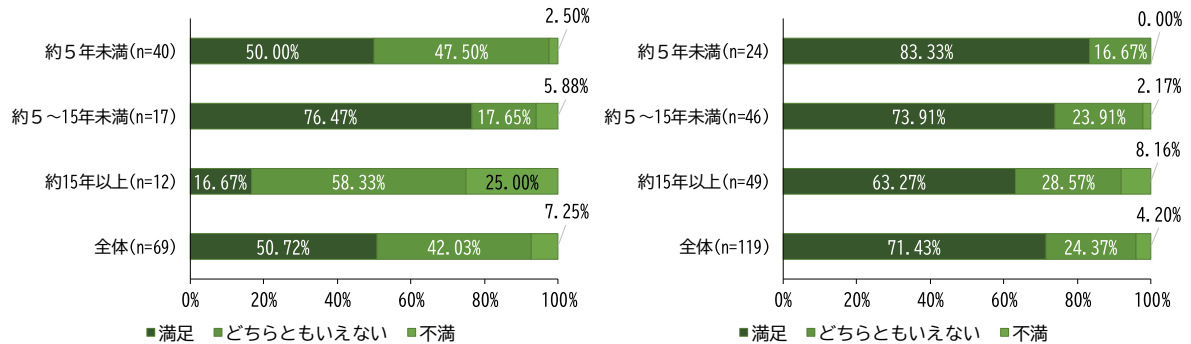
転出者について、「満足」をみると、「約5～15年未満」が76.47%と最大の値を示し、次いで「約5年未満」は50.00%、「約15年以上」は16.67%となっている。

参考値であるが、「約5年未満」の居住者の「満足」の割合は83.33%、「約15年以上」の居住者の「満足」の割合は63.27%となっており、転出者と比較して非常に高い割合となっている。

図表 2-93 居住年数別子育てのしやすさ（就学前）の満足度

【転出者】

（参考値）【居住者】



オ 子育てのしやすさ（就学前）の満足度－世帯類型

- ・全ての居住属性で「既婚・18歳未満の子と同居」の満足度が全体と比較して高い
- ・居住属性別では、「既婚・18歳未満の子と同居」の転出者の満足度が7割程度と最も低く、転入者と居住者は8割前後

図表 2-94 は、世帯類型と子育てのしやすさ（就学前）の満足度のクロス集計結果である。全ての居住属性で有意な差がみられた。

転入者について、「満足」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が77.59%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は41.67%、「未婚・子と同居なし」は38.46%となっている。

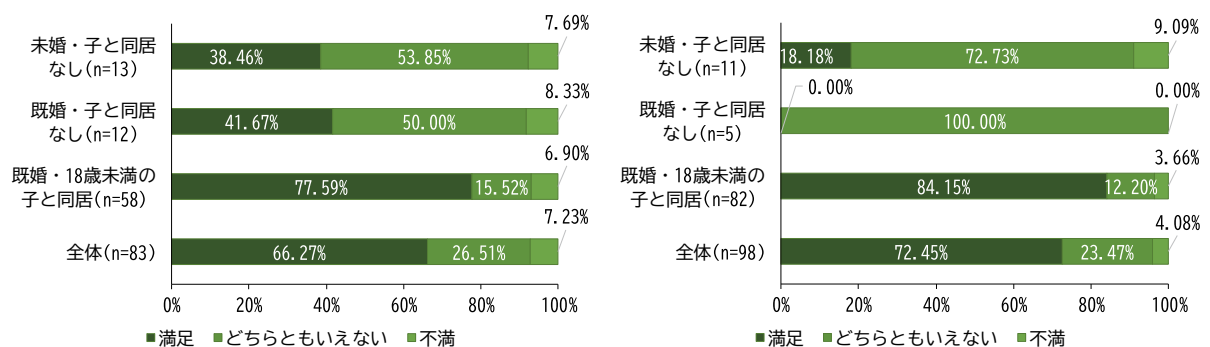
居住者について、「満足」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が84.15%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は18.18%、「既婚・子と同居なし」は0%となっている。

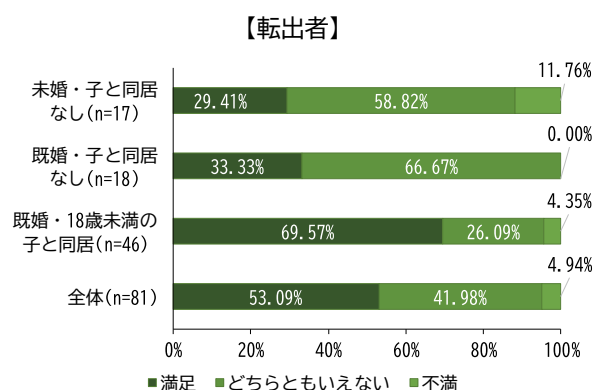
転出者について、「満足」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が69.57%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は33.33%、「未婚・子と同居なし」は29.41%となっている。

図表 2-94 世帯類型別子育てのしやすさ（就学前）の満足度

【転入者】

【居住者】





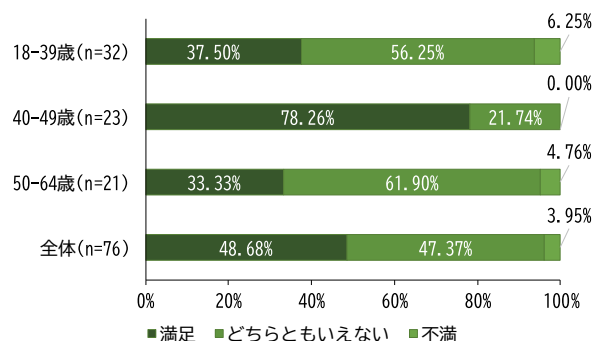
カ 教育環境（小・中学校）の満足度－年齢

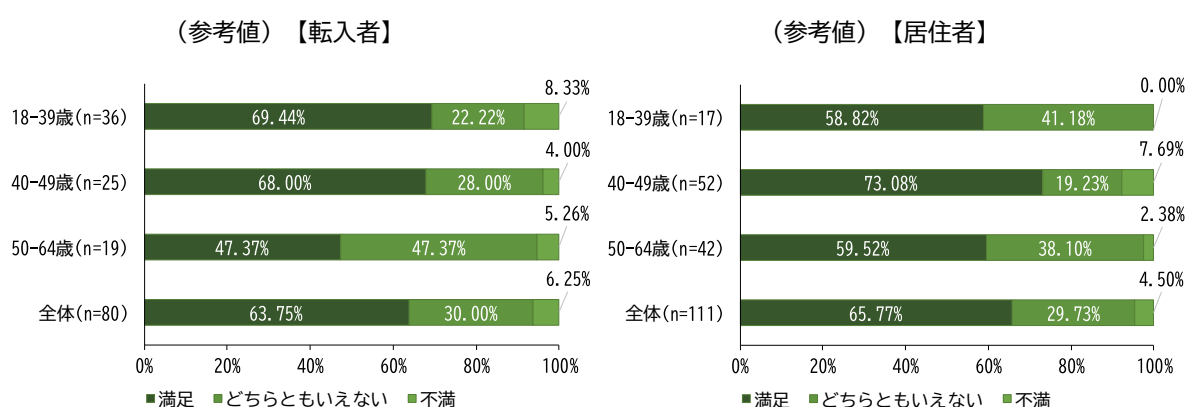
「40～49歳」の転出者の満足度は8割程度

図表2-95は、年齢と教育環境（小・中学校）の満足度のクロス集計結果である。転出者のみで有意な差がみられた。

転出者について、「満足」をみると、「40～49歳」が78.26%と最大の値を示し、次いで「18～39歳」は37.50%、「50～64歳」は33.33%となっている。

図表2-95 年齢別教育環境（小・中学校）の満足度
【転出者】





注：本設問は、子どもがいない場合「子どもはいない」を選択してもらうことを想定しており、子どもの同居の有無は問わない設問となっている。また、子どもはいるが対象年齢の子どもがいない場合でも、そもそも子どもがいない場合でも、「子どもはいない」を選択することが想定される。回答者数が少ないのは、上述の設定により、回答者に混乱をもたらしたことが要因の一つと考えられる。以下、同様。

キ 教育環境（小・中学校）の満足度－世帯類型

居住者と転出者は「既婚・18歳未満の子と同居」の満足度が他の居住属性と比較して高く、居住者は7割、転出者は6割強

図表2-96は、世帯類型と教育環境（小・中学校）の満足度のクロス集計結果である。居住者と転出者で有意な差がみられた。

居住者について、「満足」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が70.83%と最大の値を示し、次いで「未婚・子と同居なし」は50.00%、「既婚・子と同居なし」は0%となっている。

転出者について、「満足」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が63.16%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は33.33%、「未婚・子と同居なし」は31.25%となっている。

